



令和3年度

岐阜大学医学部看護学科活動報告

社会貢献部会



GIFU UNIVERSITY

ご挨拶

岐阜大学医学部看護学科では、平成28年度、教員有志を中心とした「社会貢献部会」を発足し、「地域の将来を見通し、地域住民のニーズに応じて看護職として高い専門性を持ち、岐阜県内外でリーダーシップを発揮し、看護の質の向上に貢献できる人材の育成」を目的に「看護職輝き輝き(イキイキ)プロジェクト」として活動してきました。令和2年度末、5年間の活動評価を行い活動成果と次年度目標を明確化しました。令和2年4月から岐阜大学は名古屋大学と法人を統合し、国立大学法人東海国立大学機構となり、岐阜大学は、地域共創に貢献する、地域の人々とともにある人材づくりの拠点を目指しています。岐阜大学の「学び、きわめ、貢献する」理念のもと、令和3年度は「高大連携プログラム」「専門職を磨く教育プログラム」「看護研究支援プログラム」「地域住民健康教育プログラム」の4つのプログラムで再スタートしました。

しかし、令和2年度、令和3年度と新型コロナウイルス感染症の感染拡大を鑑みながら、各プログラムの活動を自粛せざるを得ないことが生じました。その中でも、感染防止に留意して研修会の開催や、高大連携の取り組みを拡大することができました。また、本学科の学生とともに地域住民の皆様のコロナ禍におけるニーズを明らかにする調査を実施することもできました。今後は、ウィズコロナ時代に向けて「看護職輝き輝き(イキイキ)プロジェクト」の活動をアップデートしていきたいと考えています。

令和3年度の活動を本報告書としてまとめましたのでご一読いただき、さらなるご指導・ご鞭撻をいただければ幸甚に存じます。

看護学科学科長 竹下美恵子

<社会貢献部会メンバー>

社会貢献部会長 : 魚住郁子
専門職を磨くプログラム : 柿田さおり (副部会長: 前期)、水野郁子 (副部会長: 後期)、高橋由起子、井關敦子、中島美奈子
看護研究支援プログラム : 牧茂義 (副部会長)、竹下美恵子、小木曾加奈子、小林和成、社本生衣、西田友子
高大連携プログラム : 金子洋美 (副部会長)、大平幸子、今田洋子、澤田華世
地域住民健康教育プログラム : 田中健太郎 (副部会長)、阿部誠人 (副部会長)、瀬瀬朋弥、小林和成、田中千絵、岡本名珠子、

目 次

ご挨拶

I. 高大連携プログラム	1
1. 令和3(2021)年度 活動報告	
1) 進路研究講座(出前授業)アンケート結果(資料1~5)	
2) 地域課題探求型学習推進事業 実施概要(資料6~9)	
3) 探究活動 実施概要およびアンケート結果(資料10~12)	
4) 基礎看護学授業への参加(資料13)	
II. 専門職を磨く教育プログラム	47
1. 令和3(2021)年度 活動報告	
1) アンケート結果	
(1) 第1回 Gifu クリティカルケア看護情報研究会	
(2) 「LGBT 及び性別不合と医療と看護」研修会	
2. チラシ	
1) 第1回 Gifu クリティカルケア看護情報研究会	
2) 「LGBT 及び性別不合と医療と看護」研修会	
III. 看護研究支援プログラム	54
1. 令和3(2021)年度 活動報告	
1) アンケート結果(資料1~2)	
2. チラシ	
1) 看護研究研修会 2021年度 年間予定	
IV. 地域住民健康教育プログラム	68
1. 令和3(2021)年度 活動報告	
2. チラシ	
1) 学生説明会(1年生)	
2) 学生説明会(2年生)	

I . 高大連携プログラム

1. 高大連携プログラム

1) 令和3年度活動報告

本プログラムの目的：

看護職として岐阜県内でリーダーシップを発揮し、看護の質の向上に貢献できる人材の育成のため、大学入学前から看護の基礎となる素養を育てる。

① 進路研究講座（出前授業）

下記の通り、本学科講師による出前講義が行われた。アンケート結果は、資料1～5のとおりである。

- | | | | |
|-----|-------|------------|------------------|
| (1) | 知立東高校 | 講師：小林 和成先生 | 実施日：令和3年 8月 17日 |
| (2) | 岐阜北高校 | 講師：小林 和成先生 | 実施日：令和3年 10月 1日 |
| (3) | 岐山高校 | 講師：小林 和成先生 | 実施日：令和3年 10月 14日 |
| (4) | 大垣南高校 | 講師：大平 幸子先生 | 実施日：令和3年 11月 15日 |
| (5) | 鶯谷高校 | 講師：竹下美恵子先生 | 実施日：令和3年 12月 9日 |

② 地域課題探求型学習推進事業 大垣南高校 資料6～9参照

本事業を支援するにあたり、本学及び高校の相談窓口を設け、初回打合せ（令和3年8月24日）をし、ふるさと教育・SDGs探究プロジェクトの関連性について検討した。また、高校生の探究活動のテーマ決定を支援するにあたり、出前講義の他、学生からの医療・看護に関する素朴な疑問や質問に対し、Q&A方式で資料を作成し、全学生に説明配布した。コロナの影響により当初の計画スケジュールや支援方法に変更があった。

ふるさと教育実施目的：

- ・“高い志のもと、広い視野から国際舞台や地域社会に貢献しようとする明確な将来像を持ち、その実現に邁進する生徒”の育成に資する学習を実施する。
- ・地域の現状や課題を広い視野と知見から捉え、地域の発展に貢献するリーダーを育成する。

対象者：大垣南高校 1、2年生の希望者約120名（医療・看護に関心のある者）

計画概要：出前講義、探究活動のテーマ決定支援、グループ学習支援、学生による発表会への参加と講評

実績：1、2年生

日程	
9月13日（月）	テーマ別活動（コロナ禍にて見合わせ）
11月15日（月）	出前講義（対面）
11月22日（月）	中間発表（グループ）（Zoom対応）
12月6日（月）	スライドづくり（Zoom対応）

12月13日(月)	スライドづくり(対面)
1月17日(月)	発表準備(対面)
1月24日(月)	発表準備(Zoom対応)
1月31日(月)	各グループ発表への講評①(Zoom対応)
2月7日(月)	各グループ発表への講評②(Zoom対応)
2月14日(月)	年間反省

③ 岐山高校 探究活動 資料10～12参照

高校および本学の新たな担当者を含め、初回打合せ(令和3年5月31日)をし、今年度の探究活動の方向性およびスケジュールを確認した。引率教員のもと、本学への訪問時は、探究テーマ別に高校生と本学の担当教員間で質疑応答形式で話し合い、高校生は「いま私たちが生きている世界」と「目指したい持続可能な世界」を結びつける具体的なアイデアや解決策について考察した。発表会については、コロナの影響により中止となった。

探究活動実施目的：

- ・探究的な活動を中心に科学的なものの見方や考え方を学び、それを表現する力を養う。
- ・これらの取組を通して、自己の将来像を描くとともに、これからの社会で必要な力を身に付ける。

訪問日：令和3年12月6日(月)16:30～18:00

希望する探究テーマ：

◎ジェンダー平等を実現しよう(担当：大平・澤田)

課題：LGBTの人が暮らしやすい社会にするためにできること

LGBTの方の不都合や苦悩から、どんなジェンダー不平等があるかを探り、男女以外にも多様な性があることを受け入れた看護対応を考える。

◎平和と公正をすべての人に(担当：大平・澤田)

課題：LGBTQの歴史 ～History of LGBTQ in Japan～

日本のLGBTQの歴史的背景を、世界と比較しながら調べ、これから起こることを予測して看護師としての在り方を考える。同時に看護師の歴史も調べ、役割に変化があるのかも考えてみたい。

◎住み続けられるまちづくりを(担当：金子)

課題：視覚障がいの方が住み続けられるまち

視覚障がいに焦点を当て、視覚特性にはどんなものがあるか調べ、医療機関での対応等を参考にして、バリアフリーで誰もが住みやすいまちや地域医療を考える。

◎すべての人に健康と福祉を(担当：今田)

課題：マスクが人体に与える影響 ～理想的な感染予防～

マスクの弊害や医療機関で看護師が実際に行っている感染対策を調べ、更に自分たちが現在

マスク生活をする上での困りごと・問題点をアンケートで調査し、マスクの有効性も含めて理想的な感染症予防社会を考える。

④ 岐山高校 本学基礎看護学授業への参加 資料 13 参照

高校および本学の担当者と打ち合わせを行い、基礎看護技術 I 演習の見学可能な日程を提示し、スケジュールを確認した。本学への来校時は、白衣への着替え、健康状態の確認を行い、基礎看護学実習室への誘導を行った。看護学授業への参加の様子については本学医学部看護学科 Hp 内へ活動の様子として掲載している。

1 回目見学日：令和 3 年 11 月 5 日（金）15：30～18：15

基礎看護技術 I：衣生活を整える看護技術

高校生 8 名（女子）および引率教員 1 名

2 回目見学日：令和 3 年 12 月 10 日（金）14：40～18：15

基礎看護技術 I：清潔を整える看護技術②

高校生 5 名（女子）および引率教員 2 名

ケーブルテレビの取材あり

知立市東高等学校出前授業 アンケート結果

講師：小林和成先生

実施日時：令和 3 年 8 月 17 日

参加者：32 名

アンケート回収枚数：32 枚 回収率 100%

1. 今回の授業の感想

- ・病院とかで働いている看護師しかみたことがなかったので視野が広がりました。
- ・保健師さんになることを勧められることが多かったので今日講義を受けることができよかったです。保健師といわれてもどんなことをしているかわからなかったけど今回知ることができました。
- ・看護職と言ってもまだまだ私が知らない働き方があることがわかりました。地域で活躍する保健師の方たちは、住民の病気の予防を専門とするという言葉が一番印象に残っています。
- ・予防をすることでたくさんの人の命を救うことができる保健師の仕事は魅力のある職業だなあと感じました。
- ・私の親は食品にすごく気を使っているのので、その影響を受けた私は、ファーストフードなどがあまり好きではないので、今回講義で聞いた親からの影響を受けやすいということは確かにそうだなと思いました。
- ・保健師についてほとんど何も知らなかったのので、今回詳しく知れてよかったです。塩分の話が印象的でした。
- ・PP もとても見やすく実際の写真や表やグラフなども上手に使われていて分かりやすかったです。今回のために知立市東の健康状態を知ることができて面白かったです。
- ・看護師の仕事は、入院されている方の世話や医師のサポートだと思っていたけど、それだけではなく、地域に住んでいる人たちの健康増進のために働いていることが分かった。
- ・見た目では病気とわかる人だけでなく、心が病んでいる方々もいるから慎重に関わっていくことが大切だと思った。
- ・初めての発見、驚きもたくさんあり、とても楽しく看護師（地域看護・保健師）のことに学んだ。今日の講義を受けてより人の役に立ちたい、将来看護職につきたいという想いが強くなった。
- ・看護師は病院で患者の介護や医師のサポートや治療をすることが仕事だと思っていたけれど、今回の講義を聞いて、障がいなどの社会の段差を無くしたり、自己の環境づくりも看護職の仕事だとわかった。
- ・地域看護の大切さがあまりわからなかったけれど、今回の講義で大切さや、沢山のの人に求められていて必要だということがわかりました。
- ・一番心に残っていることは、地域で健康な社会を作っていくことです。一緒に地域の健康について考えていくことで死亡率が減ったりするなど、保健師はとても大切な人なんだと思った。
- ・塩分を少し抑えるだけでも、死亡率があんなに下がると知り気を付けたいし、皆にも伝えたいと思った。
- ・写真やイラストが多くわかりやすかった。
- ・自分の体験も混ぜて話して頂き身近な問題だと思った。

- ・家族が健康てきな生活に影響すると聞き、食事や睡眠など小さなころから気を付けなければならないと思った。
- ・飲酒や喫煙より社会とのつながりが少ないことが死亡しやすくなると知り驚いた。
- ・将来看護師として患者さんの健康を考えられる人になるためにまず自分の健康を管理することを心がけたい。
- ・今まであまり深く考えてこなかった健康や地域看護について知ることができてよかった。
- ・子供から高齢者まで多くの人と関わりサポートしていく保健師の仕事がとても興味を引くものだった
- ・自分が住んでいる市の情報や国の情報を細かい数値やグラフを通してわかりやすき知ることができてわかりやすい授業だった。
- ・自分たちの身近な存在である「知立市」と焦点を合わせて話してくださったので、とても理解しやすく喫きやすかった。
- ・高校までは親等の家族がいて食事など気を遣うことがないが、一人暮らしを初めて激変し塩分の過剰摂取になってしまう話に親近感がわき興味深かった。
- ・健康と聞くと個人の問題だと思っていたけれど、実際はそうではなくて、地域や周りの人々、社会とのつながりがとても深いものだと知ることができた。またそういった問題は小さい時からの影響がとても大きいと思うので、これからの生活で意識して行くのが大事だと思いました。
- ・実際の研究やグラフのデータなどを使っていてわかりやすい講義だと思いました。今いる友人との関係を絶やさないようにしようと思いました。
- ・健康は自分自身の問題だと思っていたけれど、今日の講義を聞いて地域の繋がり、クラス、学校の中での繋がりが大きく影響しているのだとわかりました。私は看護の選考を目指しているのではなく、理学療法を目指しているが、同じ医療関係、人と関わる職業だと思うので、今日聞いた地域力のことを活かしたいと思う。
- ・近所との関係を大事にすることで健康により栄養を与えることがわかりました。今回の話を聞き近所との関係や社会参加への意識が高まり、また障がいを持つ方や高齢者の方と関わることで「一人ではない」ということをお互いに知ることができ、健康増進につながると思いました。
- ・健康と地域とのかかわりについて、健康・病気の間にある「未病」という概念、地域力（ソーシャルキャピタル）など、自分の知らない健康への考え方がしれてよかったです。今回のことを友人、家族に話して健康について考えてみようと思う。
- ・社会に関わることが健康につながるということが分かった。社会と関わることで色々なことが改善されると知ったので、かかわれるものが関わるようにしていこうと思いました。
- ・看護のなかでも一番地域の人々に密接にかかわっている職業だと思った。人間関係が豊かな人は幸福感というものがあるから健康でいられるのかとも思いました。地域には保健師は欠かせないことがわかりました。
- ・医療に関わる仕事がしたいと思いましたが、今までどうしてもドラマなどのイメージが強かったのでこういう関わり方もあるんだと驚きました。今日学んだことを周りの人にも伝えていきたいです。
- ・看護は病院で病気の人を治すだけかと思っていましたが、地域の環境作りや、地域の健康調査によって、未病の人を病気にさせない健康な人を未病にさせないようにするのも看護だと知った。人々の健康への関わり方は自分の想像より沢山あってとても視野が広がった。

- ・私自身は水泳部に所属していますが、今日の話聞いてこれが、ソーシャルキャピタルなのだと知りました。今は、「部活」という狭い範囲ですがこの「ソーシャルキャピタル」がクラスや学校、もっと広い範囲に広げられる人になりたい。
- ・保健師という仕事はどういう仕事なのか知ることができてよかった。健康について講義を受けて前もって知識が深まりました。とてもいい講義で受けてよかったです。
- ・将来保健師になって地域看護に携わりたいと思っていたのでとても参考になりました。祖母は半身まひがあり家に訪問看護できています。特に訪問について興味を持っているので保健師の仕事をしてよかった。
- ・医療には病院などで働く職業以外にも、地域社会とのつながりを重視し人々が「健康」に過ごせるために活動する仕事があることを、どのような取り組みがされているのかを知って、私たちの生活を間接的、直接的に支えて下さっているのが保健師の仕事なのと思った。
- ・年齢・障害の有無に関係なく全てに取り組んでいるの人を対象として、様々なことに取り組んでいるのがわかったので。自分たちの地域ではどのようなことが行われているか調べてみたいと思いました。
- ・社会参加することによって死亡率が下がると聞いて、人と人のつながりでは未病の話やソーシャルキャピタルの話も知らないことだらけだったのでいろいろ学ぶことができた。
- ・実際の体験談も混ぜて話してくださったのでとても分かりやすかったです。今の看護に必要なことなど重点的に話してくださったので勉強になりました。地域活動の開催参加なども行う等初めて知ることもありとても面白く聞かせて頂きました。社会との繋がりが少ないと死亡率が2倍になるという話がとても興味深かったです。
- ・「看護」とは病気を治す学部だと思っていました。今回の講義を聞き、病気を治すだけではなく病気を予防することも大切だと学びました。予防するために様々な方向からアプローチすることも学びました。健康は周りの人との信頼関係も多く関係していると知り病気を治すには専門的な知識が必要だけど信頼は少しずつ知識が少なくても築けると感じました。

2. その他（もっと知りたいこと、質問できなかったことなどもお書きください）

- ・保健師をやっていて一番うれしいときは何ですか。
- ・刈谷市の死因や平均寿命を知りたい。また、人と関わることで平均寿命が伸びることがわかったから、知立市や刈谷市などの社会的事業を知りたい。
- ・岐阜大学の地域看護での学習内容や実習内容等詳しく知りたい。
- ・病院で働く看護師と、地域の手助けをする看護の大きな違いはあるんですか。
- ・大学生になったら、医療系のボランティアに参加してみたいと考えているのですが、どのようなボランティアがありますか。
- ・看護系の男女比
- ・地域医療をするうえで大切にしていることや、心がけていることをもっと知りたい。
- ・大学での勉強は講義を聞くイメージが強かったので、学生も連れてのフィールドワークについても聞いてみたかった。
- ・人とのつながりを子供のころから身に着けるためには何が必要かまた、年齢によってその手段は異なるのか。

- ・保健師さんが社会のつながりと健康を地域の人々にどんどん広げて行ってくださっていることを知りました。手術のように目に見えて何かが変わることは少ないと思います。果てしないこの取り組みに「辛い」ということはありませんか、また、それでも頑張るモチベーションは何ですか。
- ・保健師になるために今やっておくべきこと、大学で学ぶ分野などがあれば知りたいです。

以上

岐阜北高等学校出前授業 アンケート結果

講師：小林和成先生

実施日時：令和 3 年 10 月 1 日

参加者：29 名

アンケート回収枚数：29 枚 回収率 100%

1. 今回の授業の感想

- ・高校の数学は高度なので関係ないと思っていましたが、様々な場面で応用できるとわかり、今後もっと頑張ろうと思った。
- ・受験のためでなく、仕事に就いた時に知識を発揮できる法に勉強するのだと改めてわかった。苦手教科も含めて頑張っていきたい。いつでも物事に問い続けて改善することが大切とわかったのでそれをできるようにしたい。
- ・看護師・保健師とは心の優しさ、患者さんへの気遣いが大切だと思っていた。授業を受けてそれだけではなく、数学がいろんなことに関わっていて重要な役割を果たしているを知った。今受けている授業の意味を自分でもっと深く考えてみたい。
- ・数学的に理解してもらうことがとても納得できることが分かった。具体的な説明がとても楽しかった。
- ・ナイチンゲールのことをあまり知らなかったけど、数学の力を使って多く人が納得するための根拠を出していることを知りすごいと思った。普段何気なく使っている数字は将来の土台になることを学び、何に繋がるのかということを考えながら授業を受けたい。
- ・今回の授業を通して今私たちが学んでいる大切がよくわかったし、数学はあまり得意ではないけど、将来のために頑張っていこうと思えた。
- ・ナイチンゲールのお話をたくさん知って、看病が適切にされていなかったことが原因で死んだり、ナースコールを作った人がナイチンゲールで、数学的要素を合わせた画期的なアイデアから生まれたりしたことに驚いた。
- ・ナイチンゲールをこんなに詳しく知れてよかった。数学の大切さを改めて知れた。数学は毎日継続して学習したい。
- ・特に心に残ったのが個別性というところです。ただ統計をとって当てはまる人に対応しているだけではなく、それらを基に考え、その人個別に対応していくことが大切だと学べた。
- ・数学を用いることで将来病気にならないためにどう生活すればよいか、具体的になるのですごくと思いました。
- ・実際に働いてからどのようなことがあったのかを話して頂き勉強の大切さがわかった。
- ・数学は使い方次第で役に立てることが分かった。
- ・医療の道を目指すうえで「伝える」ことが大切だと忘れないようにします。
- ・今よりも数学を頑張るって将来今の学びを活かし、地域の人々の健康を守る保健師になりたい。
- ・生活の中に数学はたくさんあるんだということがわかって、意味があることをしているんだと納得した。自分が得たデータを自己満足で終わらせず、人に伝えていけるように国語の勉強も必要と思った。
- ・相手にわかるように見える化することが大切だとわかった。
- ・数学がどれほど役に立てることができるか感じる事ができた。

- ・看護は呼吸回数や体温など測定するので数学を理解していくことは大切だ。
- ・看護にどれだけデータをとることが必要か分かった。データから自分で考えたことを人々にわかりやすく伝えて自己管理をしてもらえるようにして健康を守ることも看護なんだとわかった。思い込みではなく、データを信じるのが大切と言っていたので、数学を生活の中で活かすことが学ぶ理由だと思った。
- ・データを取るだけでなくその先の実用性が大切だとわかった。
- ・将来ドクターヘリに乗って、人々の命を救える看護師になりたいと思った。
- ・「受験のため」に勉強をしていた。勉強をすることで将来どのようなことに役立てるのかを考えたり、知ることが大切だとわかった。
- ・自分の能力をこれからの生活に活かせるのか考えていきたい。
- ・ナイチンゲールは自分で工夫して兵士の死者を減らせるようにしていたことを初めて知ってとても偉大な方だと思った。

2. その他（もっと知りたいこと、質問できなかつたことなどもお書きください）

- ・看護師だけでなく他にどんな職業につきたいと考え人が看護学科に進学するのか知りたい。
- ・保健師や看護師としてのやりがいは何ですか。
- ・看護学生は、1日休憩時間はどれくらいあるのか。
- ・バイトはできるか。
- ・看護職は、休みは取りやすいか。
- ・結婚・出産などの後、復帰はしやすいか。
- ・小児の看護の興味を持ったので、資格や活動についてもっと知りたかった。
- ・フライトナースに興味があるので自分でも調べたい。看護学生の夏休みはどれくらいか。
- ・大学で看護に関わるゼミがあるなら、どのような活動をしているのか。
- ・コロナ禍での看護の難点
- ・保健師の仕事についてもっと聞きたい。
- ・看護師で「国境なき医師団」など海外で働くこともできるか。
- ・看護学科や保健課の4年生大学のカリキュラムを詳しく知りたい。
- ・どんなところで働くことができるのか知りたい。
- ・フライトナースになるために特に学んでおくべきことはあるか。
- ・心のケアはどのようにやっていて、どんなことを学べばよいか。
- ・看護師という職業はどんなことが楽しいのか知りたい。

以上

岐山高等学校出前授業 アンケート結果

講師：小林和成先生

実施日時：令和3年10月14日

参加者：31名

アンケート回収枚数：31枚 回収率 100%

1. 今回の授業の感想

・家族、友人、クラスメイト、地域の人たちが、私たちや地域の人みんなの健康に関わっていることが、よく分かった。地域の中でつながりを強くもつことが、幸福度の向上や不安の減少につながっているから、私も地域のボランティア活動に参加したり、さまざまな人と関わっていききたい。

・あまり知らない保健師の仕事についてよく知ることができ、興味がわいた。「健康」と一言で表してもただ病気ではないから「健康」とは言えないということを改めて感じた。「健康」でいるためには、周りの環境がとても大事だということも知れた。看護時になるために今やったほうが良いことや、看護師として働くうえで大切にすべきことなど知れて、とても有意義な時間になった。

・あまり保健師の仕事などを深く知らなかったが、今回の講義を受けて幅広い世代の地域の方々との交流やサポートをしていることを詳しく知ることができて良かった。また、健康は、生活習慣や食生活だけでなく、友達との関わりや、地域の方々との関わりも関係しているなど、初めて知れたこともたくさんあって、学びを深められて良かった。

・自分の身の回りの人と健康が深く関わっていることが勉強になった。自分から色々な人と関わったり話したりすることで、健康でいられるようにするための支えになるのだなと思った。また平均寿命が年々短くなっているのは知っていたけれど、健康寿命については全然知らなかった。若い自分からしたら方だが思い通りに動かないのは悲しいと思うし、不自由だと思う。その悩みを少しでも軽くできるようにするためにケアをしていききたいし、支援も行えたらと思えるきっかけになった。とてもたくさんのことを学べて楽しかった。

・私は、自分の将来についてあまり現実味がなく、軽い気持ちで看護を選んだが、今回講義を聞き、看護というのは1つの言葉でしかなくて、たくさん選択ルートがあることを知ることができた。私は、コミュニケーション能力が決して高いわけではないが、人の役に立つため、誰かの心の支えになれるよう努力していききたいと思った。看護だけでなく、他のことにも目を向けて、世界を広くみるよう心がけていきたい。

・地域看護分野の仕事は何か知ることができた。10年後も健康でいられるのかと質問されたとき、考えたこともなく、心の中で即答することができなかった。よく眠れない、疲れがとれないという未病が自分にもみられるので今回の授業を機に、自分の生活、健康について見直したいと思った。平均寿命とは別に健康寿命というものがあり、私も高齢者になっても元気でいたいので、栄養・社会参加・運動の3つの柱を心がけて生活していきたいと思う。自分の食生活を振り返ると、塩分を取り過ぎていることに気がついたので、朝食をパンからご飯に変えようと思う。認知的ソーシャルキャピタルという言葉は初めて聞いた。私も友人たちと信頼して助け合える仲になりたい。

・今回の講義で、自分が将来なりたい職業についてよく分かった。今後の生活で活かしていけることはほとんど活かしていきたいし、その職業について、もっと自分で調べていきたい。

- ・看護学と聞くともっと難しいものだと思っていたけど、身近なことの話とかわかりやすい例とか挙げてくださって、すごくわかりやすい講義だった。まだ大学生じゃないから、と思うのではなく、今からでも看護師になるためや大学の実習のためにできることを、自分なりに取り組んでいきたいと思った。
- ・人を健康にする支援を行うやり方は色々あると思うけれど、その中で保健師という人の心も健康にすることをサポートできる人もいることを知った。また、人との関わりが得意といえないけれど、自分も例えば地域の方と関わって相手の方の健康もサポートできたらいいなと思った。私はまだ将来がはっきりとは決まっていないが、人を元気づけたり、助けることのできる仕事がしたいと改めて思った。
- ・私は、今回の授業を受けるまで、保健師についてよく分からなかったけれど、地域の人や健康に深く関わっている仕事であることが分かった。平均寿命が延びていることが大事だけど、健康寿命も同時に延ばしていく必要があり、重要であることを学んだ。身体的な状態だけでなく、生活の質といった、社会参加などをして、心の状態も良くしていきたいと思った。
- ・健康や看護、保健師について、今まで知らなかったことをたくさん知ることができたので、自分の将来の夢に向けて、活かしていけたらいいなと思った。
- ・看護師だけではなく、保健師について知ることができた。
- ・私は看護に対して知識が全然なかったけど、今回の話を聞いて少し知れた気がする。
- ・“看護師”は知識だけでなく、人付き合いや人間性というのも、大切だということが分かった。フライトナースに関しての質問もできて、さらに“なりたい”という気持ちが強くなった。岐大の看護学科に行きたいと思っていたので、今回お話を聞くことができてうれしかった。
- ・あまり知らない保健師の仕事について知れて、良かった。子供から大人まで支援し、悩み相談に力を入れるということを学んだ。
- ・保健師について、たくさんのことを学べた。平均寿命などたくさんを知れた。
- ・今日の講義を通して、看護師だけに目を向けていたけど、保健師は今回から深く考えるようになった。病院内で働くだけでなく、地域の人々と関わり、つながりを増やして、地域の人々の健康も守れることに良さを感じた。
- ・「健康」は、人間関係などと深く関わっていることが分かった。社会とのつながりが少ないと喫煙する人よりも亡くなりやすことが分かったので、頑張って友達を作ったり、地域の人と関わりたいと思った。自分は塩分を取り過ぎないように心がけていたけれど、今日の話聞いて、自分が思った以上に食べ物には塩が使われていることが分かった。塩分の取り過ぎは、生活習慣病など様々な病気につながってしまうので、自分だけでなく家族と一緒に気をつけたい。
- ・保健師さんがどのようなお仕事や取り組みをされているのか知ることができた。私も子供の頃にお世話になっていたんだなあと考えた。また「健康」は、「病気」だけでなく「人間関係」までもが影響するということを初めて知り、驚いた。もっと友人関係を広げたり、社会参加をしていきたいと思った。
- ・地域看護分野に保健師という仕事があることを初めて知った。健康と病気の間「未病」という概念があることに、とても驚いた。心身的、精神的に症状がある状態が病気という捉え方に納得し共感した。ソーシャルキャピタルを高められるように、友人、先生との関係を友好にできるようコミュニケーション力をつけ、生活したいと思う。社会参加が「健康」に大きく関わり、影響を与えるので、地域活動や部活動などをこの機会に始めていきたいと思った。また健康だけでなく、死因などにも影響することに驚いた。質疑応答時に人との接し方、子供との接し方を聞いて、対等な立場で人から「教わる」という捉え方

に感動した。とても勉強になった。

・健康に関して、地域が関わっていることが分かった。今まで考えていたより、深い関わりがあることに驚き、さらに興味を持つことができた。地域との関わりだけでなく、友人、家族にかかわる生活習慣についても理解を深められたと思う。本当に楽しかったし、面白かった。

・保健師について、よく理解できた。

・看護の中にもさまざまな専門分野があり、特に保健師とは何かということを知ることができた。地域看護は地域の中において、人と人のかかわりを大切に、コミュニケーションをとって人々の健康を向上させる働きをしていることが分かった。

・保健師について、あまり知らなかったけれど、今回の講義で保健師は、学校にいけない子や子どもが可愛く思えないお母さんたちを支援していることをはじめて知った。運動も栄養も大切だけれど、社会とのつながりがあるか・ないかによって、健康に大きな影響があることが分かった。

・看護の中でも、地域に根ざしている保健師の仕事について、知れてよかった。「看護」というと、病院の中で働き、治療に医者と一緒に参加するというイメージだったけど、保健師として地域のみなさんの病気予防や健康増進にかかわるということで、仕事の選択の幅が広がったと思う。また健康とは、単に病気ではないということ、人間関係(家族)からの影響を受けることがわかった。私は将来このように病気を治すというところからだけでなく、様々な視点から「看護」に関わりたいと思う。

・今日の授業を受けて、質疑応答の時、子ども(赤ちゃん)は、一生懸命訴えているというところから、そうだなと思い、私自身が質問した質問の解答を心に刻んで大切にしたい。

・健康について深く知ることができた。病気と健康の違いについて知ることができた。健康でいるためには、社会参加も大切であることが分かった。健康づくりのために地域のつながりを大切にしていきたいと思った。

・保健師というのは、障がい者や認知症の方々の訓練や交流の場を用意するだけでなく、一般の人たちにも食に関する指導などしていると変わって、そのような地域への取り組みで支え、命を救っていると思いと、カッコいいなと感じた。健康と病気の間未病というのがあり、自分で考えてみると今の時代、自殺とかも多くなっているし、ストレスとかもよく聞くからほぼ全員未病なんじゃ?と思った。認知的ソーシャルキャピタルは、初めて聞いたけど、友人などの人間関係で、精神的にも、死亡率が1/2もカットできるというのはすごく驚いた。自分なりに健康について考え、学んだことを家族や周りにも広げていきたいと思った。

・保健師の仕事と、健康と、人間関係との関わりについて知ることができた。保健師の仕事について何も知らなかったが、意外と身近な職業だったことに驚いている。健康に人間関係は大切とは聞くが、根拠を聞いて身体的な理由もあることは知らなかった。

・看護の中でもあまり調べることのない保健師について深く知れた。保健師の方は地域の方とのコミュニケーションや関わりとかを大切に健康につながるようにしていることが分かった。地域の人、学校の人との関わりが多い方が健康のためになるので、もっと関わりたいと思う。

・保健師という仕事がどういうものなのかや、健康は病気だけではなく家族や地域との人間関係にも影響を受けながら培われるということに衝撃を受けた。私は今日の授業でもっと地域とのつながりをもって互いの健康を高めていき、この知識を将来に活かせるようにしたい。

2. その他（もっと知りたいこと、質問できなかったことなどもお書きください）

- ・保健師は保健所や会社で働くことがあると聞いたのだが、主にどこで働くのか気になる。
- ・大学と専門学校の違いを知りたい。保健師として、よかったことややりがいは何か。看護師に向いているのはどんな人だと思うか。
- ・文理選択はどちらでもいいということを知ったことがあるが、どちらの方が良いとかはあるか。
- ・専門学校と大学のそれぞれのメリットやデメリット。文系に進むと将来就職するとき不利になるか。
- ・大学では、実際どんなことをするのか。
- ・臨床体験というものは何か。
- ・余裕がないときにおこる人付き合いのトラブルを防ぐ方法はあるか。
- ・患者さんと接することで得られることは何か。
- ・僕は男で看護師になりたいと思っているが、大学の看護学科の中で男の生徒はいるか。やっぱり女の人の方が多いのか。
- ・看護師や保健師にとって一番大切なことは何か。
- ・実習ではどんなことを行うのか。
- ・実習はどんなことをするのか。
- ・緊急の看護師の人は大変か。
- ・大学の実習は、「小児科でしてみたい」「大学病院で実習してみたい」「クリニックがいい」のように実習先を選べるか。
- ・保健師になるためには、どのくらいかかるか。
- ・フライトナースになるには、どのくらいかかるか。
- ・看護師になるために、コミュニケーション以外に必要な力があれば教えてほしい。
- ・卒業生は病院以外では、主にどのような職場に就職しているか。
- ・文系理系のどちらでも看護師になれるか。文系・理系のどちらの方が看護師の割合は高いか。
- ・看護職に向いているのはどのような人か。
- ・助産師を目指したいと考えている。大学で看護を学びながら並行して助産師の資格を取ることが可能か。また大学卒業後、新しく専門学校に入らなければ、助産師の資格は取れないのか。
- ・夜間専門の看護師、救命の看護師になるにはどうしたらよいか。
- ・乳児から高齢者の方まで多くの方と関わりあう中で、特にやりがいを感じるのはどういうときか。
- ・看護師の仕事につく人は、どんな人が向いているか。
- ・看護実習や看護師、保健師として働く中で、大変だったことは何か。また、やりがいは何か。どうして、地域に根ざした保健師になろうとし、また研究しようと思ったのか。
- ・私は大学で働く看護師になりたいが、学力がとても低くて本当にしたから数えた方が早い方。本気でなりたいって思っているが、ムズかしそう。自分自身が努力をしないといけないのは当たり前なのだが、中々やる気がでない。どうすればよいか。今できなくても間に合うのか。看護の国家試験は、どのくらい難しいか。
- ・保健師として将来どんな場所で働くことができるか。
- ・心理学にも興味があるが、看護と心理は関係があるか。文系な頭だと思うが、理系の子より不利になるのか。どのようなゼミがあるか。

- ・看護実習でよく実習生が精神的につらいという話を聞くが、上手にやっていくために必要なことを知りたい。
- ・看護の方に進んでいったとして、今やっている現代社会の内容を使う場面はあるか。
- ・今の時期どの教科をどのくらい勉強すべきか。自分が将来なりたい職業の資格がどれくらいあるのかもっと知りたい。

以上

大垣南高等学校 出前授業 アンケート結果

講師：大平幸子 先生

実施日時：令和3年 11月 15日

参加者：1年生 58名、2年生 54名

アンケート回収枚数・回収率：1年生 58枚（回収率100%）

2年生 54枚（回収率100%）

【1年生】

1. 今回の授業の感想

・近年、医療は様々な課題を抱えていることが分かった。医師、看護師の不足や、高齢化、医療費削減などがあるが、これからのために、いろんな取り組みが行われていて、働きやすくなったり、住民一人一人の意識づけなど、工夫されていて、すごいと思った。医師や看護師がいないと医療は成り立たないので、特に重要な課題だと考える。

・医者が足りないと言われているのは数が足りないという意味ではなく、地方によって医者の数に偏りがあることだと初めて知った。まだまだ健康課題はある。初めて知れたことがたくさんあったので、今後に役立たせていきたい。

・地域の医療環境について知ることができて、良かったです。私は将来看護師になって、地域に貢献したいと思っているので、今日、地域医療の現状が分かってよかったです。

・日本の高齢者の割合は増加しており、それとともに平均寿命が伸びているため、医療費は年々増え続けていることを知りました。その上、医師や看護師が不足していることが問題になっているけど、対策が練られていることも知りました。岐阜県でも同じようなことが問題となっていて、これ以外のことでも課題があり、解決されていないものもあるので、今後岐阜県の現状を知り、少しでも課題を減らせるように取り組んでいきたいと思いました。

・現在の日本や岐阜の医療や健康の問題について知ることができました。グラフや表を見て話をきいていると、平均寿命はのびても健康寿命はのびていないことや、将来の働き手が減って経済が今よりずっと悪くなるなど、全然他人事ではなくて、少し怖く感じました。これから自分が調べていくテーマを、気になった点、興味をもった点から見つけていきたいです。

・主に⑧の病床数の削減という部分がとても印象に残りました。最初に読んだ時は「なんで減らすんだろう、これから高齢者が増加するなら、むしろ増やすべきだ」と思っていました。しかし、説明を聞いて、一人ひとりの症状にあった治療を行うことが患者にも地域医療にも大切なことだと納得しました。また地域医療と聞くと、病院というイメージが強かったですが、老人ホームなどの施設も地域医療を担っていると知りました。

・高齢化していく上での「予防医療」の必要性、医療費削減などこれからの社会に必要なことを知ることができた。

・少子高齢化に伴って。医師や看護師が不足していることが分かりました。また、都市と地方では、医師、看護師の量が全く違うことも分かりました。女性が働きやすい環境が整っていて、とても魅力的に感じました。私はどの分野に医師や看護師が集まっているのかや、どうすれば地方に医師が集まるのかを調べてみたいと思いました。

・医療は大変なイメージがあったけど前よりはそんなイメージがなくなった。

・日本社会の状況や医療体制などを知ることができました。高齢化が進む中、医師、看護師不足が

問題になっているので、働きやすい環境を作ることが大切だと感じました。岐阜県は高齢化が進んでいて、医師不足も進んでいるので、安心して暮らせるような医療体制を整えることが大切だと感じました。

- ・看護師は病院でしか活躍できないと思っていたが、いろんな場で活躍することができることを知った。

- ・日本の健康課題について知ることができました。特に健康寿命が短いと医療費が高くなるので、健康寿命を長くすることが大切だと思いました。また、医師、看護師が地方で不足していることを初めて知りました。

- ・少子高齢化による影響は、どんなものなのか知れてよかった。将来、どんな影響があるのか、どうなっているのかを、次調べて行きたい。

- ・女性の社会進出によって、女性医師が増えているのはいいことだけど、勤務体制が整っていないから、医師が不足してしまっているから、男女ともに働きやすい制度を作らなければいけないと分かった。

- ・自分自身医療に関してあまり興味を持っていなかったけれど、今回の講義を聞いて、今後医療等に関して改革していこうとしても、人がいなかったり、働く人がいなかったりするのを聞いて変えていかなくてはと思った。

- ・医療のいろいろな課題を知ることができてよかった。やはり少子高齢化は色々な分野に影響しているんだなと思った。病院を統合、役割分担したり、地域で高齢者を見守れるような仕組みを作ったりして、工夫して乗り越えていかなければならないと分かった。地域でも、医師不足や人口減少、DV や虐待、自殺率など様々な課題があると分かったので、今後の時間でより深く考えていきたいと思った。

- ・現在の日本の医療に関する問題や対策について知ることができた。超高齢化社会が厳しく、平均寿命が伸びてきている。また、医療費が高いなど。日本ががん検診の受診率がほかの国と比べて低いことに驚いた。早期発見を心がけたい。医師・看護師不足の原因は、都市部に行ってしまった、ハードな勤務状況など。地方の病院が大変になる。障害児が増えている。DV など虐待。健康課題は自分が思っていたよりも多かった。

- ・少子高齢化が進み、平均寿命が延びるにつれて、医療への負担が増加するということについて、改めて、大変なことだと感じました。医療費は現在では国が7~9割の保証をしてくれているが、医療の負担が増加することで、国の負担が大きくなる。そこで医療費の削減に取り組んでいるということを知りました。制度の廃止によって、地方の医者が減少している現状は、高齢者が地方にたくさんいるので、制度をもう一度考える必要があると感じました。岐阜県の中でも自分の知らない問題がたくさんあって、大垣の中での問題を知らないのを知ってみたいと思いました。

- ・日本の将来は超高齢化社会になっていくので、看護師や医療関係者の方々の需要が高まっていくことがわかりました。令和15年度には、3人に1人が高齢者になることを知って、すごく驚きました。医療費の9割を国が負担していることは、これからの大きな課題になると思いました。

- ・日本の平均寿命がこれからどんどん伸びていくのは、なんとなく分かっていたけれど、高齢者のピークがあることは考えたことがなかったので、初めて知りました。

- ・日本や岐阜県には、医療の問題がこんなにあるのかと驚きました。初めて知った問題もあったので、知れて良かったです。対策を考えるだけでなく、実際に行うことが難しいけれど、大切だと思

いました。私もテーマを見つけて、少しでも医療に近づけるようにしたいです。

- ・医者数が、田舎や小さな病院などで不足しているということを知り、私は今、医療関係の仕事に就きたいと考えているので、人数が少ないところにいき、手助けができたならなと思いました。

- ・高齢化による医療の課題が沢山あることがわかりました。医師、看護師不足や健康問題など、私たちも含め、社会の持つ問題は多いです。私個人でどうにかすることはできないけれど、今後調べ学習をして行く中で、問題についてよく知り、考えていきたいです。考える中で分かったことは、今後の生活に生かしていきたいです。

- ・少子高齢化の現状と今後どうなっていくのかを数を使って話してくださったので、このまま少子高齢化が進んだ先を想像しやすく、少子高齢化を考えてみるきっかけになった。医師、看護師の課題の理由と、それを解決して行くための対策について知れたのがよかった。少子高齢化、医師、看護師の課題を踏まえた上で、岐阜県の課題について知れたことで、今まで知らなかったことや日本で課題となっていることも、岐阜県で起こっていることがわかり、テーマの立て方のヒントになった。

- ・今の日本は、少子高齢化が進み、医療費の問題が浮き出てくるのだと、初めて知りました。また、医師不足や看護師不足も問題とされていて、働き方を改善して、より働きやすい職場づくりをする必要があると思いました。医療系の仕事は大変なイメージがあるので、医師や看護師を増やして、負担を減らすべきだと思いました。

- ・現在の高齢化問題や、それに看護師が必要なことや、厳しい勤務状況などによる医師不足や看護師不足など多くの問題があり、それを解決するための対策を聞いて、かなり厳しく辛い職業だと感じました。また、それと同時にやりがいのある仕事であると思いました。

- ・少子高齢化が進んでいたり、看護師が減っていることを改めて知りました。

- ・高齢化が進むにつれて、医療費がかかり、今以上に国の負担が大きくなってしまった。産後の仕事で悩んでいる女性が多い中、出産後も働きやすい環境が作られているのは、とても良いと感じた。自殺死亡率が全国平均よりも高いことに驚いた。

- ・現在、日本では医療費削減のため、高齢者を病院ではなく、住み慣れた場所でみるという地域でサポートする仕組みが行われていることを初めて知りました。また、医師数や看護師数は、減少していると思っていたけれど、そうではなくて、全国的には年々増加しているが、都市部に人が集まり地方では不足しているというのが現状のため、課題となっていることがよく分かりました。

- ・高齢化に伴って医療費が多くなり、現在医療費の削減を行っていることを知りました。具体的には、病床数の削減、地域包括ケアシステムを行っていることと聞き、このような活動を行っていくことで、開発費や人件費を新たに失ってしまうので、今後利益がプラスになっていくようなベストな方法を素早く見つけることが大切だと思いました。医師の負担を軽くするために、看護師の仕事を増やすと、看護師の負担が大きくなり、これ以上に離職率が上がったり、看護師の数が減ってしまうと思いました。看護師の数を増やして、分業することが、1番だと思うので、今回のような授業を行ない、子ども達の関心を上げる取り組みを増やすと良いと思いました。

- ・高齢化が進んで、働く人が減ったり、都市部に医師が集まったりして、医者不足が進んでいることが分かった。また、医師だけでなく、看護師も不足していることが分かった。健康課題は、高齢者だけではなく、障害の児童や、児童への虐待やDVでの健康問題や、母子保健や、精神保健の問題が年々増えていることが分かった。

・平均寿命や健康寿命がのびているのに、高齢化率が上がっていて、国は健康寿命をのばすような取り組みだけでなく、医療費の削減などのことも行っていることが分かった。医師不足なのは知っていたけれど、医師の数が増えていることはおどろいた。

・少子高齢化の日本では、医師、看護師の不足が問題になっていることが分かりました。また、医療費の削減で、地域で高齢者を手助けしていることが分かったので、協力できることはしていきたいです。

・日本には超高齢化社会で医療費が増えていることや、医師不足などの問題があり、そのような問題に対する対策がたくさん行われていることが分かり、勉強になりました。

・日本全体、また岐阜県の課題について、少子高齢化や医者、看護師不足などさまざまなものがあると思いました。地域の詳しい状況を理解し、そこから多くの人が幸せになるためには？ということを考えていきたいです。

・今回の授業をきいて、日本の医療に対する課題をたくさん知ることができました。日本の医療の課題が、日本の課題につながっているので、政府の取り組みだけでなく、自分たちも課題に貢献できるようにしたいと思いました。

・医師や看護師は、岐阜県では不足していることを知りました。不足している原因の1つに、職場の働きにくさだったり、女性の場合は出産が理由で退職する人が多いことが、よくわかりました。

・今回の授業を聞いて、私はいろんなことを学ぶことができた。今まで知らなかったことや、病院の詳しいことまで、知ることができた。また、とても丁寧であったし理解がともしやすかった。

・今の日本は、超高齢化社会で、それを解消するために国や地域がいろんな対策を行っていることを知ることができて、よかった。

・医師や看護師は、都市の方では余っているけれど、田舎の方では足りていなくて、差があることを初めて知りました。高齢化が進むにつれて医療費が増えていくので、そのために様々な対策をしていることに驚きました。

・日本の社会の問題は、医療現場に直面していることが分かりました。地域によって格差があることが分かりました。

・今日の話聞いて、今の問題について多く知ることができました。その中でも、医療費削減対策はほとんど知らないことばかりでした。私は、将来看護師になりたいと思っています。そのことを含めて考えると、がん検診の受診率の低さは改善しないといけないとも思います。看護師になれるように、今の日本の状況、岐阜県の状況、今後の様子など多く知り、少しでも医療と関わりたいと思いました。

・日本の社会は、高齢化や医療の問題など、自分がしていたこと以上に深刻で何年後かにはギリギリな状態になってしまうことに驚いた。それが都市部と地方の差として、ハッキリと目に見える状態になっていて、これからもそれがひどくなると、これから生きる世代はいろんな対策に追われることになるのかなと思った。自分は福祉系を目指しているけれど、医療とつながっているところもあり、良い時間になった。

・大垣市の中では、色々なところに歯医者があるので、多い方かと思ったけど、全国平均よりは少ないので驚きました。

・自分たちの世代が大人になったときに、少子高齢化の影響が大きく出るので、今回の調べ学習を機に、改めて問題を調べて何ができるかを考えていきたいと思った。

- ・日本の健康問題や、今現在の医療の課題など、私が聞いたことなかったことまで知ることができてよかったです。また、どの科の医師の数が少ないのかは、初めて知ったので驚いたし、医療関係の職を目指す私にとってタメになる話ばかりでよかったです。
- ・日本や岐阜県の健康課題をグラフを通して理解することができた。
- ・今回の授業で知らなかった健康問題は新しく知れたり、詳しく知れてよかったです。例えば、医師、看護師不足ということは知っていたけれど、都市部は充実しているなんて思わなかったので、知れてよかったです。また、岐阜県の健康問題は思っていたより多くて、医師、看護師が全国平均の割には解決されていなくて驚きました。
- ・今、医者が増えているのに、社会全体として減っていると言われてるのは、地方と都市の差だと分かった。
- ・私は医療費削減や医師、看護師不足の対策など、国で変わってきていることが分かりました。特に、特定看護師制度の導入を知って、医師ではなくても医師のようなことができる制度があることに驚きました。私は今、看護師という職業に興味を持っています。今回話を聞いて、より興味が湧きました。このふるさと教育探究活動を通して、自分の目指すべき姿や、地域の医療のことについて、もっと知り、知識をつけ、自分の将来に役立てたいです。
- ・医師や看護師は、人の命に関わる仕事で予測できないため、働く時間が増えてしまい疲労が増えたり、女性は結婚や妊娠などもあるため、医療関係の人々のための制度をつくったり、働きやすい環境を作ることが大切だと思いました。
- ・日本だけでなく、岐阜や大垣での地域医療に対する課題について詳しく知ることができた。今後の未来のために自分自身ができることを考え、今後の地域社会に貢献して行きたいと思いました。
- ・岐阜県は他県と比べて、医師や看護師の数が少ないことが分かって大変だと思いました。いろいろな制度を導入して医師不足を解消しようとしていることが分かりました。
- ・地域の医療では、今どんな課題があるのかをしっかりと確認した上で、対策をしていることがわかりました。これからの自分たちの調査でも、そのことを活かしていきたいです。
- ・図や写真にそって、説明していただき、今の日本の課題や、岐阜県の課題、テーマのみつけ方が、それぞれとても分かりやすかったです。日本の問題である、医師、看護師不足の問題がとても興味深く、もっと知りたいと思いました。
- ・高齢化によって医療は大変になるばかりなのに、若い人が少なくなっていくことがわかりました。だからこそ、今のうちから健康に気を付けて、生活習慣病や太りすぎないようにしたいです。また、定期的に検診をして早期発見をすることも必要だとわかりました。今、地方で医師や看護師が足りてないことを知りました。自分はこれから地域に対して何ができるのか考えていかなければならないと感じました。
- ・グラフや資料などと一緒に説明してくださって、分かりやすかった。今の日本、今後の日本の健康や医療はどうなっていくのか理解することができた。
- ・医師の数がただ単に不足しているわけではなく、都市部に集まってしまっているため、地方の医師の数が不足しているのだと、初めて知りました。また、岐阜県にも課題はあり、それを少しでも改善していくために考えることが大切なんだと改めて思いました。

2. その他（もっと知りたいこと、質問できなかったことなど）

- ・女性医師が増加しているのに、男性看護師が増加しないのはなぜか。
- ・コロナ対策。
- ・岐阜県が他の場所と比べて特に課題としている点。
- ・コロナ禍で医師、看護師にどのような変化があったのか、病院での対応など。
- ・大変なこと。
- ・大垣や私たちが住む健康課題とその解決方法を知りたいです。なぜ都市の医師は集まっているのに、地方に移らないのか、教師は都市から来るのに医師はなぜあまり来ないのか知りたいです。
- ・どうして女性は男性より健康寿命と平均寿命の差が大きいのか、どうして障害のある児童数は増えているのか。
- ・医師、看護師不足→今なろうとしている人（学生とか）はどれぐらいいるのか。
- ・どの種類のがんをどのように予防できるのか、どのように治療すれば治るのかをもっと知りたいです。
- ・看護師や医師になるまで、どのような道を進んできたのかを知りたい。
- ・地方の医師が不足していて、募集しても誰も来なかった場合、どうするのか。がんの早期発見をするために検診を行う場合、定期的に受診するのか、また定期的に受診を行うとすればどのくらいの頻度で受診するのか（5年に1回など）。
- ・ガンはどのように予防できるのか、看護師はどういうところがハードなのか。
- ・岐阜県での自殺死亡率が全国に対して高いのはなんでだろうと思った。
- ・地域医療で働くと、どんな感じですか。
- ・看護師の分野。
- ・病床の回転率は今はどうなっていますか。
- ・年収。
- ・看護師、医師の一日のスケジュールについて知ってみたい。小児科、外科など、〇〇科によってどのくらい医師、看護師の人数の差があるのか。医師不足の現状についてもっと知りたいし、対策として何かあるかも。
- ・精神や心に問題があったり、病んでいる人を支えたいと思っているのですが、それは福祉系でも問題はないのでしょうか。また、どのようなことが大切になりますか。
- ・歯医者が全国平均よりも多いところは、どれだけ多いかを知りたい。
- ・日本のがんの検診率が低い理由（外国が高い理由）。
- ・職業は医療ではなく教育を志望しているが、生徒が病んだりしたらどう対処すればいいか。
- ・特定看護師には、看護師とは違う資格が必要なのか。
- ・薬剤師の仕事内容や、増加傾向にあるか減少傾向にあるか。
- ・看護師の離職率が高いのは、仕事内容はキツイからなのか気になります。
- ・岐阜県の高齢化率や医師不足などの岐阜県の問題について、もっと知りたいと思いました。
- ・医療にはどのような職種があり、どのように地域を支えているのか。
- ・看護師の男女比はどのくらいか。

【2年生】**1. 今回の授業の感想**

- ・日本全体の医療の現状を知ってから、自分の街のことについて伝えていただけたのでとてもスラスラと内容が入りわかりやすかった。
- ・グラフが多く説明が非常に分かりやすかった。
- ・国は病院のベッド数を減らそうとしていることを初めて知った。患者を減らして元気な人を増やそうとしていて大変そうだった。
- ・医師や看護師の不足だけでなく様々な課題について詳しく知ることができた。今回の講話を参考に調べていきたい。
- ・医師不足に関しての詳しい数値などはじめて知った。
- ・医師数が減っているというのは聞いたことがあったけれど、実際は全体的に増えていて田舎や小さい病院等は給料や休みが安定しない、技術をあまり学べないという理由で、志望するが減っていき、医師不足や病院閉鎖に繋がることを知った。思い込みしていたことをちゃんと調べてみたいと思った。
- ・都市部と地方間での医療格差はすごく感じた。
- ・岐阜県の人口は減少傾向にある中で高齢者が増えているが、医師が不足しているから地域内で支え合うことが大切だと思った。
- ・看護師も大変だと改めて思った。自分も協力できることを探していきたい。
- ・(看護は) 命に関わる仕事であって大変で責任のある仕事なのだと改めて感じた。
- ・これからどのように医師を増やしていくのか、どのような看護をすると医療費を抑えることができ、かつ患者に快適な治療を提供できるのか考える必要があると思った。
- ・日本は私たちが思っている以上に医療関係者はストレスを抱えており、最近では差別を受けている人もいるので、それを解決することが医療従事者を増やす一つの方法だと思う。
- ・女性が活躍できるようになったことで起きている問題があることを知り少しショックだった。これからの環境を早く整備して医師や看護師、患者のすべての方向で使いやすく、働きやすい医療環境にしていく必要があると思った。
- ・特定看護師制度の導入により医師不足はカバーできるし、人手不足の地方でも医療サービスが向上するけれど、その分看護師の技術の向上も求められるので、大学などで行う実習はとても重要視されると感じた。
- ・今の日本は高齢社会となり、看護師、医師共に必要とされる人数は増えているが、看護師や医師不足であることを聞いて、日本の課題であると思った。将来看護に進みたいと考えているので自分が疑問に思ったこと等たくさん調べて将来の役に立てたい。
- ・高齢化になるとお金が余分にかかる。
- ・高齢化が進むことによって看護師の需要が高まっているということを初めて知った。
- ・日本の医療の現状は思っていたより深刻であると感じた。
- ・今日の日本医療の1つの課題を手もわかりやすく知ることができた。
- ・岐阜県のことや健康課題について学べたので今後の探究活動に生かしていきたい。
- ・日本も岐阜県も健康課題が思っていたよりもたくさんあって驚いた。
- ・女医が増えることはいいことだが、マイナスに出ることもあることが分かった。

- ・看護師でも様々な専門があり自分に合ったものをしっかりと見つけたいと思った。
- ・地域包括システムの構築でできるだけ病院に入院するよりも家や老人ホーム等で過ごせるような工夫がされていることが分かった。
- ・がんの2,3割は防げることがあるということが分かったので、がんの早期発見に繋がるよう定期的に検査しなければならないと思う。
- ・日常から健康的な生活を送ることが大切だと思った。
- ・少子高齢化が進むことにより、医師や看護師が不足しており、その対策が遅れていることが分かった。
- ・高齢者の増加に合わせ、介護や治療体系も変えていくために、今の状況をまず理解する必要がある。
- ・超少子高齢化の他、平均寿命が年々上がっていること、医療費が増え続けていること等初めて聞いて驚いた。
- ・出産できる病院数が減ってきているのはとても不便だと思った。
- ・障がいのある児童が1988年から0.8%も増加しているので、特別支援教育の体制整備が重要になってくると思った。
- ・医療費削減のために「予防医療」に対策の焦点を向けるということは本当に納得した。病院になるべくかからなければよいと思っていた。
- ・医療費削減の対策が各項目で行なわれていてすごいと思った。
- ・医療費削減のために検診をしっかり行って予防することは、自分のためにも良いことだと思ったので積極的にアピールしたい。
- ・ジェネリック医薬品についても考えたいと思った。
- ・テーマを考える上で書き出してみることが大切だとわかったので書き出したい。
- ・まずは身近な疑問から今後のテーマを決めていきたいと思った。

2. その他（もっと知りたいこと、質問できなかったことなど）

- ・看護師不足のための国からの支援は何か。
- ・コロナ禍になって医師、看護師、その他の医療従事者の勤務時間や勤務内容で変わったことはあるか。
- ・コロナの影響、大変だったこと
- ・医師不足について
- ・看護を行う上で一番大変だったことを知りたい
- ・なぜ医局制度を失くしてしまったのか（ある方が地方の医療が充実すると思うから）
- ・他にどのような課題があるのか
- ・看護師の離職理由の一つとして、妊娠・出産があるが、子育てをしながらでも仕事をするために設けている制度や院内の施設はどれくらい充実しているのか。
- ・目指すべきいき医療の姿
- ・自分が住む地域の健康課題について
- ・医師・看護師不足へのその他の対策と実際の実践状況
- ・特定看護師制度について、岐阜県にもあるのか

- ・医療費はなぜ増え続けているのか
- ・今の医療業界を助けている制度を知りたい
- ・大垣市内は病院数が都市と比べて十分にあるかどうか。
- ・小児科医が大変な理由
- ・男性看護師の需要
- ・1960～2000年代でグラフが大きく増加しているのはなぜか
- ・海外では一人の医師が一人の患者をみると言われるくらい医数が多いのに、日本では何故ここまで少ないのか。
- ・看護師ができる仕事の範囲
- ・医療従事者への給料は世界と比べてどうして少ないのか
- ・少子高齢化への具体的対策
- ・医師、看護師を増やすために私たちにできることは何か
- ・障害を持つ児童が増えているのはなぜか、予防はできるのか
- ・産婦人科医や小児科医が一番不足している県、自殺死亡率がワーストな県

鶯谷高等学校出前授業 アンケート結果

講師：竹下美恵子先生

実施日時：令和3年12月9日

参加者：25名

アンケート回収枚数：25枚 回収率 100%

1. 今回の授業の感想

・本日は、貴重な講義をありがとうございました。今回の講義を聞いて、人間として必要なコミュニケーション能力や、看護職として必要なコミュニケーション、そして、それに加えて、看護の技術、注射やカテーテルをいれたりなどを学ばなくてはならないと思いました。私は、友達や先生方と関わったりで、人見知りを発動してしまうことなどがあるので、大学の授業を通して学びたいです。

・母親が看護師で、仕事の話もよく聞く身であるのに、今回の授業内容には全然知らなかったことも多々あって、大変興味深く、楽しみながら聞かせて頂きました。改めて看護職の詳しい仕事内容や、その仕事をする上で大切なことなどを、さらに知りたいなど、調べていたいなどと思いました。看護において大切にしたい考え方や心持などを学べたけれど、今学生である私も人と関わっていく上で心がけていきたいことばかりで、より有意義な時間を過ごすことができたと思ったし、家族とも共有したいことだなど思うことができました。私は今の志望学部は看護ではなかったのですが、今日の話聞いて看護職も視野に入れて考えたいと思いました。

・私は今回の授業で看護を学ぶ前に、人と人とのつながりを大切にしたり、コミュニケーション力が身につけていないと難しいのだなど感じました。また看護はたくさんの知識が必要で、本当に大変な仕事だと思いました。人は言葉よりも表情や声のトーンが目につくので、今から気をつけていきたいと思いました。私は一度だけ入院したことがあって、そのときに看護師さんがとてもやさしくてとても安心したので、私もそういう距離を意識したり、傾聴をしたりして、患者さんに信頼される人になりたいと思いました。

・今回の授業を受けて看護職として一番大切なことは、患者さんの気持に寄り添うことだと思われ、気持ちに寄り添えるようになるには、一方的なコミュニケーションではなくて、双方向的な相互作用を生むコミュニケーション能力が必要なので、信頼関係を生むことができるように学校生活から意識して力をつけていきたいです。人の気持を理解して、この人は今何を思っているのかな、考えているのかな等考え、日頃から自分の先入観にとらわれないようにしたいです。

・看護の根本には、人間関係とコミュニケーションが大切だということ。自分をまず理解しなければ、他人を理解することはできないと感じました。看護する上で、様々な考え方、感じ方をたくさん考え、見つけることが、とても大切だと知りました。

・看護学部・学科は、看護師となり働くことが、最終的な姿だと思っていましたが、一般企業に入り保健師として活躍することができたり、学校に残って専門性の高いことをより学ぶことができると知って、自分の興味によって幅広い進路があって、実習などが多く、忙しそうではあるけれど、充実した人生でも有意義な時間を過ごせるのかなと思いました。また、看護職に就くと、相手があるので、相手に対してどのように接するといったのかなどに気付くことができるのではないかと思い、社会でも大切なことなので、学んでみたいと思いました。

・今回の授業では、患者さんとの向き合い方を教えて頂いて、こんな風に学んだことが無かったので、とても貴重な1日になりました。ありがとうございました。例えば、患者さんとは、第一印象が大事だということ、情報のちょっとした伝え方で、患者さんの不安を大きくさせてしまう、逆に安心させられるなど、実際にその立場になってみないと考えないことを教えて頂いたことが一番記憶に残りました。

・1～2年は専門用語を覚えたり知識を取り入れて、3年になると実習が多く、忙しくなり、4年は国家試験や就職試験を受けるために勉強が必要になるということを初めて知りました。他にも専門用語や知識だけではなく、患者とのコミュニケーションや相手の立場になって考えるなどの調べてもわからないようなことを聞いてうれしかったです。

・看護師と言っても、看護師さんたちをまとめる人や、専門性の高い人など、色々な道があることを初めて知ったので、自分が学びたいことを深く追求できて、それを生かせることがとてもいいなと思いました。また、看護においてどれほどコミュニケーションが大切なのか、患者さんごとに合わせる必要があると分かりました。今日学んだことは、日常生活にも生かせるようにしたいです。

・多くのためになる授業だったと思います。多くの看護師の専門的な知恵を知れてよかったし、これからの生活でも、使えるようなことも多く知ることが分かった。あと、もっとコミュニケーションをして多くの人の事を知れるようになりたいと思いました。そして挨拶が大切らしいので、意識して取り組んでいきたい。もっと詳しく看護師を知りたいと思ったので、インターネットなどで調べていきたい。

・看護職の人数や、実際の岐阜大学のカリキュラムなどを知ることができて勉強になりました。やはり、コミュニケーションが大切になってくると分かったので、日頃意識してみたいです。コミュニケーションから信頼関係を築けることも分かったので、様々な人と様々な方法で、コミュニケーションを取り、信頼関係を築いていきたいです。将来、看護師を目指す上で、普段の生活で自分が努力して変えていけるところがよく分かったので、より豊かな感性や価値観を大切にしていきたいです。看護においてだけではなく、日常に役立つことも教えていただけて、より多く学べました。ありがとうございました。

・看護で大切なことを教えていただき、コミュニケーション能力がとても大事なことだと改めて感じた。看護において「人間」についてよく知り、関心を持つことが必要なので、自分自身に興味を持ち、「人」について考えたいと思った。

・看護学では、医学的な知識を吸収し、患者さんに寄りそって安心させることが出来る素晴らしい仕事だと思いました。コミュニケーションがものすごく大事で、患者さんを安心させる事もできるすごい武器だと思いました。

・看護師に大事なこと（コミュニケーション、価値観、思いこみをしない）など、普段あまり教えてもらえないことをたくさん教えてもらえて、とてもいいことが知れたので良かったです。看護学部では実習をして、実際に経験することで技術を身につけると同時に人とのかかわり方も勉強できると思うので、がんばろうと思いました。

・コロナ禍で、病床が足りなくなる理由が、私立の病院は200～400床あるが、コロナ患者を受け入れる病院が公立だったので、足りなくなっているのだと知って、なるほどなと思いました。自分たちの身近な話題である医療に対する話を聞くことができて、とても勉強になりました。普段なかなかお聞きできないことが聞いて、すごく良かったです。看護師さんは、いつも患者さんに寄り添ってくださり、よく気づいてくださるのは、さまざまなことに気をつけていらっしゃるからなのだとは今日よく分かり、改めて看護師さんは、素晴らしいと思いました。患者さんと接するとき、距離感、言葉遣い、声の調子などさ

まざまなことに気をくばらなくてはいけないが、その分、患者さんの苦痛や不安を和らげることができるのは、とてもすごいことだと改めて思いました。

・看護師は、薬や病気のメカニズムを知らないといけないし、それだけでなく患者さんとの信頼関係を築かなければならないと分かりました。また、そのために、それぞれの人がもっている価値観や背景からくる考え方があることを認めることがある仕事だとわかって、改めて、とても大変な仕事だと思いました。

・医療の中での看護職というのは、とても深い職業だということが分かりました。相手に関心を持ち、常に寄りそう姿勢と気持ちが大事で、看護師さんとの対等な関係を築くことを意識していくべきだと思いました。コミュニケーションには、言葉だけでなく相手が安心できるように、アイコンタクトや聞く姿勢、ジェスチャーを意識して、これから生活していこうと思いました。

・看護学を学べる大学などは、さまざまな種類があって、進学先の可能性を広げることができました。いつも考えることのない言葉の深い意味や、日常にも関係する、相手とのかかわり方など、自分のためになることがたくさん知ることができて、良かったです。

・大学内の学習についてだけでなく、大学後の進路などについても聞いたので、自分で調べるだけでは分からなかったところも詳しく知ることができて良かったです。模擬講義では、コミュニケーションや人間関係について深く知ることができました。今回のようにコミュニケーションについてこんなに詳しく学んだことがなかったので、とてもためになりました。看護するときだけでなく、日常でも使えるようなことを学ぶことができました。

・今回の授業を受けて、看護職はとても大変なことが分かりました。看護職でも年々男性の人数が増えていると聞き、とても驚きました。人は、出会った最初のイメージで決めつけられると知ったので、面接のときなどで身だしなみは気を付けたいと思います。沈黙も一つのコミュニケーションだということが分かりました。

・治療する側と患者さんは常に対等であるという考えが、とても魅力的でした。当たり前のように、無意識に上下関係を付けてしまいがちなところだと思うので、これから進路に向かって頑張っていく上で、この考えは大切にしていきたいなあと思いました。また、“傾聴”という言葉は初めて聞きましたが、とても大切なことだと思うので、これから人と関わる上で、頭に入れておきたいなあと感じました。

・今回のコミュニケーションについての授業は、ノンバーバルコミュニケーションについてが、とても興味深かったです。ただ話すだけではなく表情や声のトーン、目の動きや沈黙までもがコミュニケーションになると知り、とてもおどろきました。授業も事例などを一緒に説明していただけて、分かりやすかったです。

・看護師は全国にたくさん人数がいて、資格がとれたら一生働ける、勉強できる、人を支えられる素敵な職業だと改めて感じました。大学では、治療法以外にも、人と関わるために必要なことまで実習や必要科目を通じて学べるということが分かりました。私は人見知り強いので、少しずつ克服してコミュニケーション力を上げて人間としても成長したいです。

・今まで看護を学ぶにおいて、深く考えたことがなかったのですが、今回の講義をきいて、看護といっても多くの専門分野にわかれていることが分かりました。また、看護において、人とのコミュニケーションがすごく大切なことが分かりました。日々を振り返ってみると、学校ではいつも仲の良い子とばかりいてコミュニケーションが偏ってしまっていたので、もっと多くの人と関わって、一人一人の考え方などを大切にしていきたいと思いました。

・学部説明会では、今まで気になっていたことがより詳しく知ることができました。実習は専門学科がいくつもあり、2週間に1回ずつローテーションするので、すごく大変そうですが、とても楽しみで、より看護の道に進みたいと感じました。模擬講座では、コミュニケーションについて、たくさん教えて頂きました。患者さんと関わるうえで、コミュニケーションはとても大切で、時には患者さんの心をらくにできることもあるので、患者さんの気持ちをくみ取ることが大切ということが分かりました。第一印象はすごく大切です。第一印象は相手からなくなることはほとんどないと思うので、第一印象が良く見えるように身だしなみを普段から気を付けたいと思いました。

2. その他（もっと知りたいこと、質問できなかったことなどもお書きください）

- ・助産師の資格の勉強と看護師の資格の勉強の両立の仕方を教えてください。
- ・産休・育休などを機に看護職を辞めてしまう人は、どれぐらいいるのか（全体の何割くらい）。看護学生のオシャレは具体手にどの程度が許容範囲なのか。
- ・4年の間に助産課程をとる方は、看護と助産どのように両立しているのですか。実習以外は髪やファッションなど、どの範囲でしていいのですか。
- ・保健師になるには、看護師の国家資格と保健師の国家資格を2つ取らないといけないと思うんですが、2つの国家試験の勉強を同時勉強しないといけないということは、看護師の勉強をするよりも大変になってくるんですか。また何年生の時に保健師になるコース選びがあるんですか。
- ・幼稚園の時から、看護師になりたくて目指しているのですが、夜勤が怖くて、病院ごとに内容は違うと思いますが、夜勤とは何をするのでしょうか。
- ・最大でも12日間の入院しか出来ないと聞いて、それは最後までその患者さんを看れないと思って、気になってもその患者さんが行った次の病院で個人情報を知ることは出来ないと思います。入院期間は延ばしたりできるのか、もっと寄り添いたかったと思ったことがあるのかを聞いてみたいです。
- ・チーム医療について、もっと知りたい（コミュニケーション能力以外に大切なことや、昔と比べて効率の良さなど）。
- ・まずは普段の生活でのコミュニケーションで、いろんなことを気にかけてたりして今日教えてもらったことを実践できるようにしたいと思います。
- ・看護師と准看護師の違いは何ですか。
- ・今日は、看護職に関係するととても参考になる話を聞かせてくださって、ありがとうございました。

以上

令和3年度 ふるさと教育（テーマ別活動）実施概要

大垣南高等学校

1 ふるさと教育の目的

- ・“高い志のもと、広い視野から国際舞台や地域社会に貢献しようとする明確な将来像を持ち、その実現に邁進する生徒”の育成に資する学習を実施する
- ・地域の現状や課題を広い視野と知見から捉え、地域の発展に貢献するリーダーを育成する

2 科目の到達目標（地域の発展に貢献するリーダー像）

- (1) ・「地域を良くしたい」という情熱と信念
 - ・地域住民の様々な意見を引き出し、まとめ上げること

育むべき力

- (2) ・高いコミュニケーション能力や信頼関係を構築する力
 - ・多くの人を納得させ、感動と共感が得られる表現力

3 校内組織：ふるさと教育推進委員会

(1)構成

校長、教頭、渉外課長、進路指導主事、進路担当者（渉外）、1年学年主任、2年学年主任

(2)担当

- ・渉外課は外部関係者との折衝、文書管理等を担当
- ・進路指導課は、取組内容に関する準備・サポートを行う

4 実施方法

- (1) 希望する8の分野に分かれる
- (2) アドバイザーの基調講演を聴き、その分野についての概要を把握する
- (3) さらに5～6人の小グループに分かれ、話し合いの進行、タブレット操作、記録などの役割を決め、アドバイザーと課題探究テーマを決める
- (4) ワークシートをもとに地域課題について探究活動を行う
- (5) 課題探究活動した成果をグループで発表する

5 8の分野

- ・地域医療、防災、町おこし、IT関係、交通、地元企業、メカニック/通信、環境

6 活動予定

1年次生

(地域課題探究型学習)

日にち	活動内容
9月13日(月)	基調講演(テーマ設定)
10月4日(月)	地域課題探究活動なし
11月8日(月)	地域課題探究活動なし
11月15日(月)	テーマ別活動(調べ学習)
11月22日(月)	テーマ別活動(調べ学習)
12月6日(月)	スライドづくり
12月13日(月)	スライドづくり
1月17日(月)	まとめ 発表準備①
1月24日(月)	まとめ 発表準備②
1月31日(月)	発表①
2月7日(月)	発表②
2月14日(月)	年間反省

2年次生

(地域課題探究型学習)

日にち	活動内容
9月13日(月)	地域課題探究活動なし
10月4日(月)	基調講演(テーマ設定)
11月8日(月)	テーマ別活動(調べ学習)
11月15日(月)	中間発表(グループ)
11月22日(月)	スライドづくり
12月6日(月)	まとめ 発表準備①
12月13日(月)	まとめ 発表準備②
1月17日(月)	発表①
1月24日(月)	発表②

私たちがつくる

1.2年次生共通
SDGs探究プロジェクト

持続可能な社会

分野() ★私のSDGs探究ゴールは

[]

考え方のポイント☞ 視点は自分の住んでいる地域です。

SDGs探究のヒント!

プロセス①に進む前に、「SDGsとは?」というところから調べてみる。17のゴール(大目標)、その下に169のターゲット(小目標)があることがわかります。(宝の山が埋まっています!!)

★SDGs探究のプロセス(プロセス①から④の順序で進めてみよう。)

プロセス① 課題の設定

自分の探究するSDGsのゴールについて、自分の住んでいる地域の課題を調べ、「えっ?なんで?」「もっと知りたい!」と思ったことを書き出してみよう。

プロセス② 情報の収集

プロセス①のうち、最も関心が高いもの、あるいは重要度の高いものをピックアップし、書籍、インターネット、インタビューなどを使い調べてみよう。

プロセス③ 整理・分析

プロセス②について収集した情報(分かったことや生の声)を自分なりに「整理・分析」してみよう。

プロセス④ まとめ、表現

調べたり、まとめたりする過程で、感じたこと、考えたこと、課題に対する自分なりのアプローチ法などについて書きだしてみよう。

プロセス① 課題の設定

インターネット検索サイトに「SDGs 地域」などのワードから調べることもできます。また、例えば金沢工業大学では小中高生向けに SDGs 自宅学習教材を公開しています。是非参考にしてみてください。

プロセス② 情報の収集

インターネットだけでなく、地元の広報誌、LINE や Instagram などのアンケート機能も活用、またご家族、親戚、ご近所の方などの生の意見をたくさん収集しよう！

プロセス③ 整理・分析

信頼できるデータには説得力があります！

プロセス④ まとめ、表現

テーマ別の発表ではここがポイントになります！どう考えたかも大切ですが、取り上げた課題に対して今後各自がどのような取り組みをするのかまでしっかりまとめよう。

また、「多くの人を納得させ、感動と共感が得られる発表ができるか」という観点をもってください！！

令和 3 年度 高大連携プログラム【岐阜県立大垣南高等学校】出前授業・探求学習支援
第 1 回 打合せ会議事録

日時 : 2021 年 8 月 24 日 (火) 16:00~16:30

開催 : Zoom 会議

参加者 : 岐阜県立大垣南高等学校 ; 滝教諭

岐阜大学医学部看護学科 ; 大平, 今田 (敬称略)

報告事項

1. 本年度担当者について

大垣南高校より滝俊治教諭 (総括), 本学より大平 (窓口), 今田, 金子が担当することを確認した。

2. 大垣南高等学校における探究活動のこれまでの経緯

事前配布資料 (令和 2 年度出前講義実施報告書 参照)

検討事項

3. 依頼内容

1) 基調講演 (テーマ・内容) について

- ・対象者 : 1・2 年生の希望者

看護師だけでなく理学療法士、臨床検査技師等医療に関心のある学生

主に 1 年生であるが各学年 50~60 名の希望者 (仮登録) あり

- ・講演依頼内容 : 「岐阜県 (大垣市) における医療課題, 講師の専門分野の紹介」
- ・講義日時 : 2021 年 11 月 15 日 (予定) 詳細は, 後日の職員会議で決定
- ・講義時間 : 1 コマ 50 分のうち, 35~40 分程度

2) 探究活動の進め方について

- ・実施期間 : 2021 年 9 月 13 日 (1 年生) ~, 10 月 4 日 (2 年生) ~ 予定
コロナの影響により, 9 月 12 日まで登校禁止, 以降も解除されない場合, 初回が 11 月となる。
- ・探究活動の主な流れ :

講演 (11/15) → 探究活動のテーマ決め (11/22)

グループ学習 : 5~8 回 (12~1 月で準備)

アドバイザー : 滝教諭 1 名, 4 名の学年グループ担当教諭, 本学担当 3 名

発表会 (1/31, 2/7) 予定

3) ふるさと教育と SDGs の探求プロジェクトの関連性

- ・SDGs の基礎学習 (大目標・小目標など) については既習
- ・学生は, 医療の分野からみた SDGs と日本・岐阜県・大垣市の医療課題に結び付けテーマを決定できれば理想的である。

4) 今後のスケジュール

- ・後日, 滝教諭より連絡頂けることとなった。

4. その他

- ・開催方法については, 可能であれば対面、難しいようならオンラインなど検討する。

以上
文責今田



岐阜県立大垣南高等学校 医療・看護に関する Q&A



【看護全般について】

・看護と介護のちがいは何か

A) 介護は「日常生活を安全かつ快適に営むためのサポート」がメイン、介護福祉士やヘルパーなどの資格を持った福祉の専門の資格を持った者が、看護は「病気や怪我などの治療や療養のための全人的支援」がメインとなる専門的職業です。看護学を学んだだけでは看護師になれるわけではなく、必要な学問単位を取得後、看護師国家試験を受験・合格し、免許がもらえないと働けません。

・海外の方の対応方法

A) 岐阜でいえば、アジアやブラジル人等地域の特性に合わせた外国人が入院される場合を想定し、翻訳表や筆談、通訳の方が存在する場合は仲介をしてもらうなどしてコミュニケーションを図り信頼関係を築いていきます。その他、一般企業の医療通訳・機械通訳サービスを導入、活用している施設もあります。日本におけるグローバル教育は進んできており、英語などの多国語を話せるナースも少しずつですが増えてきています。

・ごみ問題(どこに捨てるのか、どのように捨てるのか)

A) 病院等医療機関から排出される廃棄物は、紙くず類、プラスチック、ガラス・注射針等の鋭利器材、血液や体液を含むガーゼ等や臓器に至るまで多種多様です。そのため、病院のごみ箱は「一般廃棄物」と「産業廃棄物」が区分(医療廃棄物処理法)がしっかりなされています。しかし、なぜか、日本でも医療廃棄物の不法投棄があります。わが国における医療廃棄物の不法投棄の状況について調べてみてください。

・看護師の収入が高い理由

A) 人の命を預かる仕事なので当然かと思っていましたが、新鮮なご質問ありがとうございます。なぜでしょうか？一個人としては、看護師も医師の様にさらに給与を挙げてもらってもよいと思っています。

【看護師について】

・看護師に向いている人材とは

A) 誠実で献身的、人との関わりが大好き、相手のことを思いやり推し量ることができる、公平性のある関わりができる、倫理観がある方

その他に、地域で暮らす人々の健康を支えるためには、保健・医療・福祉関係者と連携・協働することが必要となります。多職種が効果的に連携するためには、相互理解を深めることが基盤となりますから、互いを知ろう！理解しよう！とする姿勢も求められます。(教員Ⅱ)

より良い看護を提供するために、疾患のこと、治療のこと、看護のことなど、進んで自分から勉強しようと思える人や、色々な年代の方を対象に看護を行うので、医療・福祉の知識だけでなく、それ以外のことにも広く浅く関心を持つことができる人も看護師に向いていると思います。(教員Ⅲ)

・看護師は不足しているのか

A) 不足しています。厚生労働省による 2019 年の統計データでは、日本全国における看護師(准看護師は除く)の就業総数は 1,272,024 人で、年々増加傾向です。しかし、新人ナースの入職率(8.6%↑)が上がっても、それ以上に離職率(11.5%↑)が上がっている現状(「2020 年 病院看護実態調査」, 日本看護協会)であり、需要と供給バランスが悪くなっています。勤務者が減ると当然夜勤の回数が多くなり、労働環境が悪化しさらに勤務者が減るという悪循環に陥ってしまうのです。

・看護師になる前となった後のギャップ

A) 看護師の仕事は 3K (きけん、きつい、きたない) ので、舐めてはいけないと周りの大人から言われていたので覚悟を決めて入職。人の命を扱う仕事なので責任は重大であり舐めてはいけないことは間違いなかった。3K、そうであると言えばそうであったかもしれないが、ダイレクトに患者さんの健康や命を守るために必要なケアの一部分の側面であり、自分たちのような専門職がいなければ、誰も進んでやれないことだと誇りに思えた。私自身が単純な人間なので、自分の仕事が目に見えて人の役に立っている仕事だと感じられた仕事でした。私にとっては 3P (誇り、自分の居場所、人生の喜び) の体験でした。(教員 I)

日常で体験した出来事が、良いことも悪いことも、全て仕事に活かされることに気づきました。いろいろな背景をもち、いろいろな体験をされた患者様との信頼関係を築くためには、多くの体験や経験から思ったことや考えたことが生きてきます。年を取るごとに、看護支援をより良くしようと工夫ができるようになることにも気づきました(教員 II)。

元々、看護師ではなく、別の職業で病院に勤めていた経験があったので、看護師に対する大きなギャップはありませんでしたが、人と向き合うことが好きでなければできない仕事だと思いました(教員 III)。

・看護師になってよかった事

A) 多くの患者さん、看護学生と会うことで人をみる目や人生経験が何百倍にも豊かになった。看護学そのものが、患者さんだけでなく自分や家族の生活にも判断にも非常に役立つ(教員 I)

家庭での、赤ちゃんのお世話、祖父母のお世話がスムーズにできる、手際よく家事ができる、時間を有効に使えるようになりました(教員 II)。

色々な患者さんの人生にちょっと携わることができるというのは、看護師の醍醐味ではないかと思います。あと、世間の皆さんがお休みの時(連休やお正月)にも仕事をする分、世間の皆さんがお仕事している時に休みが取れたので、人込みを避けて遊ぶことができました(教員 III)。

・一日のスケジュール

A)入院患者を持つ病院では、医師や看護師は 24 時間 365 日体制で患者さんの健康管理が必要です。そのため、看護時は 24 時間を三等分した 3 交替制、二等分の 2 交替制でシフト管理されます。3 交替制の場合の一日の看護師の業務スケジュールの一例を示しました。

看護師業務スケジュールの一例

日勤:

- 8時半頃- 出勤、出勤以前の患者の健康状態・業務内容の情報収集
- 9時- 深夜ナースから日勤ナースへの申し送り
各患者への看護ケア(検温・全身観察・血圧測定・吸引・全身清拭・健康教育等々)、
業務(薬液投与の準備、医師の診療介助、入院時の問診、感染予防のための環境整備など)
- 12時前後- 配膳、昼食・休憩
- 13時前後- 患者カンファレンス
- 14時 - 各患者への看護ケア、看護カルテなど行った業務の公的記録
- 16時半頃- 日勤ナースから準夜勤ナースへの申し送り
(この前位から準夜勤ナースは患者の健康状態などの情報収集準備)

準夜勤:

- 17時頃- 各患者への看護ケア
- 18時 - 配膳 (これ以降、ナースの人数が少なくなるため、交代で夕食・休憩)
- 19- 各患者への看護ケア、業務
- 21時頃- 巡回・消灯 その後必要な患者へのケアは続く(トイレ介助、オムツ交換・体位交換等々)
病棟で毎日あるいは週間別に必要な業務(備品・薬品チェック、患者投与の点滴や注射の準備等)
適宜巡回、看護記録記載
- 24時半頃- 準夜勤ナースから新夜勤ナースへの申し送り
(この前位から深夜勤ナースは患者の健康状態などの情報収集準備)

深夜勤:

- 1 時- 巡回、必要な方への看護ケア
- 3 時- 巡回、必要な方への看護ケア、緊急入院があれば問診から対応
病棟で毎日あるいは週間別に必要な業務、看護記録記載
時間が確保できれば一人ずつナースは休憩
- 6 時- 患者の起床、採血、検温、朝の看護ケア
- 8 時- 配膳、看護記録
日勤へ の繰り返し



【看護大学について】

・看護学部の面接で大切なこと

A) 看護学を学ぶ教育機関には教育理念があり、それぞれの教育機関によって異なります。岐阜大学では、総合大学としての教育理念・目標あり、次に各学部の教育上の目的、さらに各学科の教育方針があります。皆さんの学校にもありますよね。本学科面接で前提に求められるとは、なぜ看護学を学びたいかだけでなく、たくさんの教育機関がある中でなぜ岐阜大学医学部看護学科に入学したいかということになります。岐阜大学内のHP で是非確認してみてください。

・どのくらい学ぶのか

A) 最短コースでは、高校 3 年間で准看護師の受験資格が得られる教育機関(岐阜県内では一つ)、高校卒業後に看護専門学校などの看護師養成所や看護短期大学に入学すると 3 年間、さらに看護大学では 4 年間の中で専門的知識深めます。専門学校や短期大学の様に正看護師の受験資格が得られる他、本学科は、4 年間の中で保健師・助産師の教育プログラムがある大学のため看護師に加えて保健師・助産師の国家試験受験資格を得ることができます(ただし、保健師・助産師課程は同時に専攻できません)。

・就活の進め方

A) おおよそ 3 年次生に学生自身で就職先を探し、インターンシップや就職説明会に参加し、4 年次生の 11 月頃までには決定されていきます。就職、進学先も様々な専門分野や特徴があるため、3 年次生の後学期からある領域別臨地実習体験、先輩や教員などのアドバイスを自ら得ながら決めていきます。他の職域と異なり就職難はありませんので学生は慎重に選択していると思います。



以下については、講義を通して考えを深めていただければと思います。

【岐阜県の医療について】

・岐阜県の医療の課題、医療の課題ばかり出ているが成果はなかなか上がらない理由はなぜか

【地域医療について】

・なぜ地域医療と在宅医療が大切なのか、看護師はどのような仕事を行っているのか、魅力と課題とは

たくさんの質問を頂きありがとうございます。
その他、下記の質問については、後日改めて回答いたします。

【コロナについて】

・問題や変化は何か、実際コロナの影響は大きかったのか、コロナ病棟は今後どうなるのか、ワクチンの効果、訪問介護は実際に行ったか

【その他】

- ・医療の中でどの分野の需要があるか
- ・救急科の医師は少ないというデータがあるが少ない人数でどのように対応しているのか



岐大連携を希望する探究テーマ

◎すべての人に健康と福祉を

課題：マスクが人体に与える影響 ～理想的な感染予防～

マスクの弊害や医療機関で看護師が実際に行っている感染対策を調べ、更に自分たちが現在マスク生活をする上での困りごと・問題点をアンケートで調査し、マスクの有効性も含めて理想的な感染症予防社会を考える。

◎ジェンダー平等を実現しよう

課題：LGBTの人が暮らしやすい社会にするためにできること

LGBTの方の不都合や苦悩から、どんなジェンダー不平等があるかを探り、男女以外にも多様な性があることを受け入れた看護対応を考える。

◎平和と公正をすべての人に

課題：LGBTQの歴史 ～History of LGBTQ in Japan～

日本のLGBTQの歴史的背景を、世界と比較しながら調べ、これから起こることを予測して看護師としての在り方を考える。同時に看護師の歴史も調べ、役割に変化があるのかも考えてみたい。

◎住み続けられるまちづくりを

課題：視覚障がいの方が住み続けられるまち

視覚障がいに焦点を当て、視覚特性にはどんなものがあるか調べ、医療機関での対応等を参考にして、バリアフリーで誰もが住みやすいまちや地域医療を考える。

令和3年度探究活動 岐阜大学訪問 テーマと質問事項

1 訪問日時

12月6日(月) 16:30～18:00

2 テーマ及び質問事項

① マスクが与える人体への影響 ～理想的な感染予防～

質問

- ・医療従事者の方がしているマスクの着用方法
- ・使用するとよいマスクの種類
- ・高齢者、子供など、長時間のマスクの使用が難しい患者さんには、どのような対応をするか
- ・マスクによる弊害の総称を「マスクシンドローム」と呼ぶらしいが、それに関する資料があれば、教えていただきたい。なければ、つぎのことについて先生の御意見を伺いたい。

- ① マスクシンドロームが人体に及ぼす影響
- ② マスクシンドロームと上手に付き合いながら行うコロナの感染予防
- ③ 今後起こりうること（自分たちは、口呼吸が増えることによる睡眠の質の低下を考えている。）

② LGBTの人が暮らしやすい社会にするためにできること

③ LGBTQの歴史 ～History of LGBTQ in Japan～

質問

- ・身体と心の性が一致しない患者さんがいた場合、看護師はどのような点に配慮して看護すべきか
実際にしている取り組みがあれば、教えてほしい
- ・医療機関でLGBTの患者さんはどんなことに困っているか
- ・同性婚が認められていない場合、パートナーが入院しても面会できなかつたり説明を受けることができなかつたりという問題があるが、どうすれば解決できるか
- ・看護師の学会や研修会で上記のような問題は重視されているのか
- ・上記の問題の対策委員会などはあるのか

④ 視覚障がいの方が住み続けられるまち

質問

- ・医療機関では視覚障がいの方への配慮を意識しているか（設備やサポートなど）
- ・地域で視覚障がいの方をサポートする点で意識すべきこと
- ・今現在の日本で足りていないと思う制度や設備などはあるか

岐山高等学校探究活動 アンケート結果

実施日時：令和3年 12月 6日

参加者：12名

アンケート回収枚数：12枚 回収率 100%

1. 今回の授業の感想

・LGBTQ についてもとから知っていたこと、探究の時間で調べていたことはわかったつもりでいたけれど理解しきれていませんでした。今回の時間を通じてさらに LGBTQ について詳しく知れてさらに興味が増えました。LGBTQ が社会に良い方向で理解されていくといいなと思いました。また、今回の資料を頂けたので、探究活動の時間がスムーズに進みそうです。ありがとうございました。

・私はもともと LGBT がレズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーの略であることも知らないくらい知識がありませんでした。また、そのような性別の問題は正直自分には関係ないと思っていたし、遠い存在であると思っていたけれど、それは追っていいって自分の周りにそのような方がいるかもしれないということに気を付けながらこれから生活していきたい。

・LGBT について病院での対処法などインターネットを調べても出てこないこともあったので、今回直接お話を聞いて良かったです。身の回りにも LGBT の方がいるかもしれないので、もしいたら味方になってあげたいし、より多くの方に LGBT が認められるといいと感じました。貴重な時間をありがとうございました。

・LGBT で実際に悩んでいる方たちのいろいろな不満を聞いて、意外なところが悩んでいることが分かった。昔、トランスジェンダーが病気扱いされていたことなど、LGBT について新しい知識を得ることができたので、また LGBT の方に対していやだと思わないように接していけるようにしようと思った。

・ネットでは調べられなかった資料を見ることができてよかったです。LGBT について「病気」とみなされなくなったのは最近だと思うので、将来 LGBT の人が嫌な思いをしない社会を目指して私も普段の発言や行動に気を付けようと思いました。少しでも理解のある人が増えるように正しい認識を広めていきたいです。

・聞きたいことがたくさん聞いていろんなことを考えることができたので今回のことをわかりやすくまとめて学校で多くの人に伝えていきたいと思いました。

・自分たちの研究にとっても役に立つ情報を沢山教えてもらえてよかったです。ありがとうございました。

・テーマに沿った内容はもちろん看護師についてや、心のケアまで親切に面白く楽しくわかりやすく丁寧に説明して頂きこれからの人生に役立つ貴重な話を聞けました。とても濃い時間でした。楽しかったです。

・探究のテーマについて私たち以上に調べて下さっていてとても参考になりました。また、看護師助産師になりたいものとして、とても濃いお話がきけたと思います。少し進路のことも悩んでいたもので、それも解消でき助かりました。

・自分たちが調べていることについてより詳しく説得力のある結果になるように調べ方や資料まで細かく教えていただけてすごく良い時間だった。世の中の人や私たちの健康について改善方法も知ることができて試してみようと思った。

・自分たちが知らない今の医療現場のことをより深く知ることができた。地域での自分のあり方も考え

るきっかけになった。より自分の夢を叶えたいと思いました。ありがとうございました。

2. その他（もっと知りたいこと、質問できなかったことなどもお書きください）

・私は友達から性別がないというような感じのことをカミングアウトしてもらったときに受け入れたんですけど、配慮すべきか、しないか迷っていて結局いつものように話してしまったので、その対応は先生から見てどのように思うのか。

・近年よくテレビで LGBT をよく聞くようになった理由

・貴重なお時間ありがとうございました。

・LGBTQ の人たちの気持ちをもっと理解していやな気持をする場面を少しでもへらせるようにしたいと思いました。

・聞きつくしました!! とても満足です!!

・先生が普段どんな授業をしているのか。

以上

岐山高校の探究活動 vol.21

～岐阜大学連携講座『看護体験』を行いました～ (看護系志望者対象)

11月5日(金)及び12月10日(金)に、看護系志望の2年生(13名)が岐阜大学の医学部看護学科への看護実習に赴きました。

この講座は普通科2年生が「SDGsに関する探究活動」の一環として、看護系志望の学生が実習に参加し、大学の先生や大学生の方から直接学ぶ場です。平成28年度の高大連携事業から始まり、6年目を迎えた今年度は、学部1年次の「基礎看護学実習」に参加させて頂きました。

また12月6日(月)には研究室訪問として、「マスクの人体への影響」や「ジェンダー問題」、「視覚障害の方にとって住みやすい環境」などについて探究しているグループが、大学の先生方を訪ね、調べてきたことをもとに質問しました。



11月5日の「寝衣交換実習」の様子。





先輩学生の皆さんからも、これまでの実習を通して学んできたことを聞きました。



12月10日の「洗髪実習」の様子。



当日の様子は地元ケーブルテレビや中日新聞などにも紹介されました。



研究室訪問の様子。放課後に時間を取って頂き、様々な質問に答えて頂きました。

参加した生徒にとっては、コロナ禍の中で貴重な実体験の場になっただけでなく、先輩学生の皆さんの姿から学び、進路に関する様々な疑問や自分たちの思いをぶつける機会になりました。ご担当頂いた医学部看護学科の先生方、学生の皆さん、本当にありがとうございました。



Ⅱ. 専門職を磨く教育プログラム

専門職を磨く教育プログラム

1. 目的

時代と地域のニーズに応じた看護が提供できる看護師を育成する。

2. 目標

- 1) 病院看護師(中堅看護師・教育担当看護師)に実施したインタビュー調査をもとに、岐阜大学と岐阜大学附属病院看護部がどのように連携していくのかを検討する。
- 2) 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の動向を鑑みながら、本学卒業生を含めた臨床看護師の看護実践能力の向上に向けた研修会などを開催する。
- 3) 卒業生支援プログラムが設立した卒業生相談窓口の運営・管理を継続する。

3. 活動内容

1) Gifu クリティカルケア看護情報研究会

本研究会は、クリティカルケア看護に関して、教育・臨床・地域で活躍している人々との人的交流を深め、クリティカルケア看護に関する知識と質の向上のための情報発信を行っている。しかし、コロナ禍において2年間活動を休止していた。今年度は、この2年間の活動、看護実践の状況など、多くのよもやま話をする事でクリティカルケアの輪(わ)と和(わ・なごみ)を広げ、次への活力につなげるための会をZoomにて開催した。

令和3年度 Gifu クリティカルケア看護情報研究会

第1回 令和4年2月21日(月) みんなの輪・和ーよもやま話からはじめようー

2) LGBTQ・性別不合(性同一障害)と医療・看護研修会

情報を得る機会が少ないといわれる LGBTQ や性同一性障害について基礎知識を提供する講義と、LGBTQ 当事者との交流を通して看護職ができる支援を考える機会とした。

令和3年11月22日(月) テーマ:LGBTQ・性別不合(性同一性障害)と医療・看護

3) 在校生・卒業生のための看護実践研修会

本年度、新たに在校生および卒業生の看護実践能力の向上等を目的とした研修会を計画していたが、新型コロナウイルス感染症による岐阜県のまん延防止等重点措置の発出を受けて、本年度は開催を中止した。次年度、新型コロナウイルスによる感染状況を鑑み研修会を開催できるよう、再検討中である。

4) 看護研究

次年度中の学会誌等への掲載を目標に、現在、2本の論文を執筆中である。

5) 卒業生相談窓口

就業相談・進路相談・研究相談・メンタルヘルス相談など卒業生が相談したいことに対して相談できる、卒業生のための相談窓口を設置し、適切に対応できる教員等を紹介している。

1件(令和4年3月18日(金))の相談が寄せられ、看護研究に関する内容であったため、看護研究支援プログラムに引き継いだ。

令和3年度卒業生に対して「卒業生相談窓口の案内」を一斉メールにて配信し、周知した。

令和3年度(2021) 第1回 Gifu クリティカルケア看護情報研究会 実施結果

テーマ: みんなの輪・和-よもやま話からはじめよう-

開催日時: 2022年2月21日(月)18:00~19:10

開催方法: Zoom

参加者: 6名

研究会での討論内容:

職場におけるコロナ禍の感染予防対策

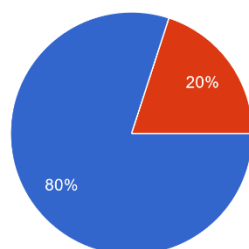
コロナ禍での臨地実習場での感染予防対策

コロナ禍における学内実習・学内演習の工夫

コロナ禍における学生気質や学生の学び

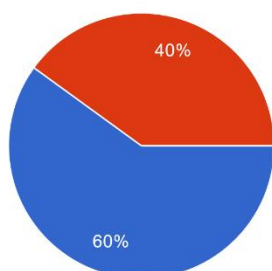
アンケート結果: google フォームによる集計

研究会のテーマは興味を持ってましたか。
5件の回答



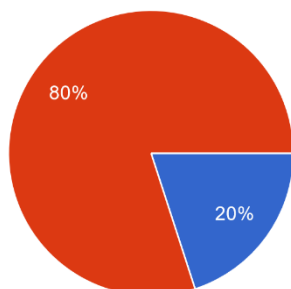
- かなりそう思う
- どちらかというと思う
- どちらともいえない
- どちらかというと思わない
- そう思わない

研究会の内容は満足いくものでしたか。
5件の回答



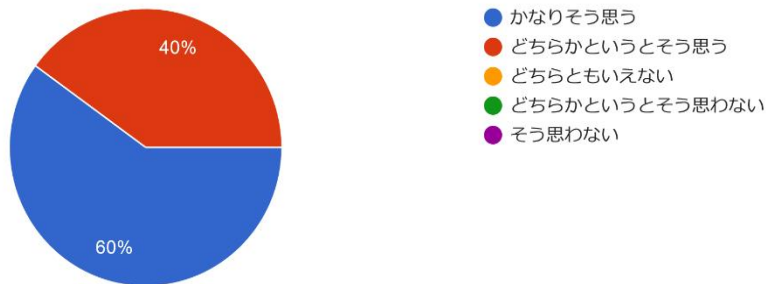
- かなりそう思う
- どちらかというと思う
- どちらともいえない
- どちらかというと思わない
- そう思わない

この研究会で新しい知見が得られましたか。
5件の回答

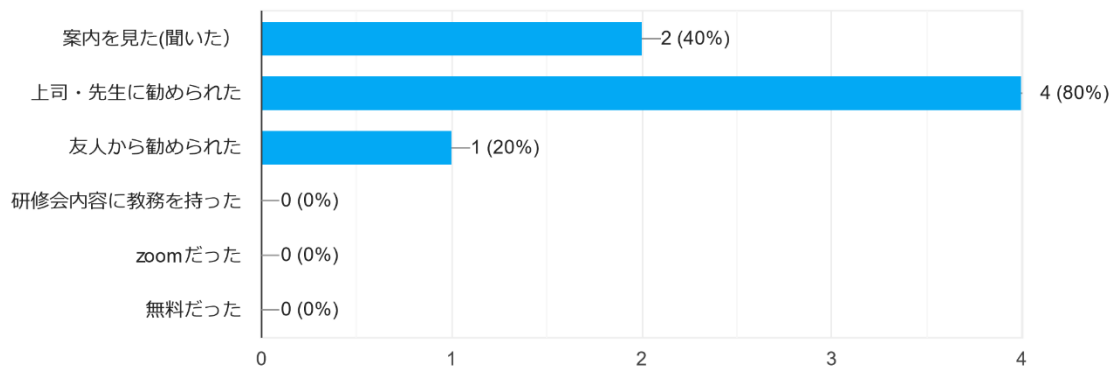


- かなりそう思う
- どちらかというと思う
- どちらともいえない
- どちらかというと思わない
- そう思わない

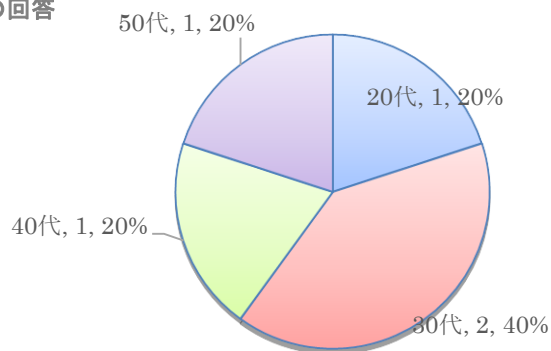
今後のこのような研究会があったら参加したいですか。
5件の回答



本日の研究会に参加しようとしたきっかけはなんですか。（複数回答可）
5件の回答



参加者の年代
5件の回答



その他：

- ・他学の教員の方々と交流できる機会を頂きありがとうございました。臨床の方たちともこういった形で気軽に交流できると良いなと思いました。ありがとうございます。
- ・情報交換できてよかったです。今後も情報交換できたらと思っております。
- ・皆さんの元気な顔を拝見できてうれしかったです。

「LGBT・性別不合(性同一性障害)と医療と看護」研修会報告

日時:R3 11月22日(13時~15時)

場所:看護部北診療棟 カンファレンスルーム

内容:LGBTの基礎知識(支援団体 ASTA Mさん)

医療職むけの知識:性同一性障害の治療と問題(教員 I)

当事者の語り(トランス男性2名、親族1名)

質問へのコメント、意見交換

参加者:附属病院看護部 23名

看護部以外参加者4名(学部生2、卒業生1、院生1)

【学生の感想:3名無記名アンケートより(抜粋、改編)】

1. 性的少数者に関する基礎知識、世界の潮流 (ASTA Mさん担当)

言葉による無意識の暴力、胸に刺さった。気を付けているようで、その言葉を使っている、と改めて考えさせられた。知らないことが多く、中でも、「マイクロアグレッション」という言葉は、初めて聞く言葉であり、印象的であった。Mさんはこの言葉をご自身の経験を踏まえ、具体的な例を示し伝えてくれたので、とても分かりやすかった。今後、ピアでLGBT+のことを勉強し少しでも基礎知識が多く広まるような活動をしたいと思う。

誰もが誰もの ALLY になれるという言葉が心に残った。セクシュアルマイノリティだけでなく、障がいを持つ方など、様々な立場の方々の ALLY を目指したい。

2. 看護職にむけた提案、治療等に関する情報提供 (教員 I 担当)

ホルモン療法や手術などの治療については、詳しく知らないところが多かったので、課題点や費用なども含めて具体的に知ることができて良かった。パワポ資料の乳房切除術の方の乳房を見て、対象者の心と体の不一致がこれほどまでに苦しいものなのかと、とても考えさせられた。

性適合手術は侵襲が大きいことを知り、将来、看護職として働く中で、患者さんが性適合手術をされている場合、患者さんの様子を観察し、異変を早期に察知できるようにしなければならないと思った。

3. 当事者および親からの語り

初めて当事者の方の生の声を聞いた。周りの方の理解が必要だと改めて感じた。何か行動に起こすことが必要ではなく、思いに寄り添うことがはじめての一步なのだと思えた。当事者と親御さんのふたつの立場からのお話を聞いて、本当によかった。

どの方の言葉も胸に来るものがあった。当事者の方々は失いたくない大切な人にカミングアウトするまでの苦しみや、カミングアウトする時の不安や葛藤を想像するだけでも相当な精神的なストレスがあると改めて分かった。

当事者の保護者の方の視点での語りは今までお聞きする機会が少なかったため、非常に有意義だった。

4. その他

当事者の方が健診で配慮してもらえたエピソードが印象的だった。できる限りの配慮を行い、最終的な選択は当事者の方に決めてもらうことは、個人の尊厳を守ることにつながるため、大切だと思った。看護職の方からの質問はとても実践的な内容ばかりだった。様々な立場の人が感じるマイクロアグレッションに気づけるように、学んだり、対話をしたりすることを大事にしたいと思った。

【学生の参加状況】

- ・準備、かたづけ等、積極的に参加してくれ、看護部や支援団体の方にも礼儀正しい態度であった。
- ・学生が研修に参加することはこれまでの看護スタッフだけとは違う、雰囲気であった。
- ・次年度も可能であれば、この研修に学生も参加できるよう、看護部の許可をいただきたい。



専門職を磨く教育プログラム

令和 3年度 第1回Gifuクリティカルケア看護情報研究会

みんなの輪・和 -よもやま話からはじめよう-

コロナ禍において2年間活動を休止しておりました。クリティカルケア領域で活躍されている皆さんは、大変な状況の中で活動されていると思います。そこで「みんなの輪・和-よもやま話からはじめよう-」を計画いたしました。

Zoomで開催をいたします。ご興味のある方はこの機会にぜひご参加ください。この2年間の活動、看護実践の状況など、多くのよもやま話をする事でクリティカルケアの輪（わ）と和（わ：なごみ）を広げ、明日への1歩にしたいと思っております。

開催日時

2022年 **2月 21日** (月)
18:00～19:00

開催方法

Zoomによる開催 参加IDは担当者からメールにて配信いたします。

対象

看護師、学生、看護教員、クリティカルケア看護に関心のある方

対参加費

無料

申込締切

2月17日(木)

申込方法

参加される方のお名前、ご所属をE-Mail(yu-taka@gifu-u.ac.jp)まで、お知らせください。

その他

岐阜大学ホームページ 医学部看護学科、成人看護学分野
<http://www.med.gifu-u.ac.jp/kango/labo/kyusei/> からご確認いただけます。
お申し込み後3日を過ぎてもご連絡がない方は、再度メールをいただきますようお願い申し上げます。
Gifuクリティカルケア看護情報研究会に関するお問い合わせは
岐阜大学医学部看護学科 成人看護学分野
Gifuクリティカルケア看護情報研究会(担当:高橋)
yu-taka@gifu-u.ac.jpまたは 電話(FAX):058-293-3233でご連絡ください。

問い合わせ

岐阜大学医学部看護学科 社会貢献部会

岐阜大学医学部看護学科プロジェクト

TEL 058-293-3218 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1

E-Mail yu-taka@gifu-u.ac.jp



LGBT・性別不合（性同一性障害）と医療・看護

《主催者・共催者（医学部看護学科）より》

LGBT や性別不合（性同一性障害）について医療職が知ることは重要であると言われてはいますが、情報を得る機が少ないのが現状です。そこでこのたび、簡単な基礎知識の講義と LGBT 当事者さんおよびご家族との交流を通して、私たち看護職ができる支援を考える機会にさせていただきたいと考え、このたび看護部の協力をいただき、この研修会を開催させていただくこととなりました。

《主催者および特定非営利法人 ASTA より、研修会当日にお願いしたいこと》

- ・恐れ入りますが、アンケートへの協力とご寄付をお願いしたいので、筆記用具と、できればお財布もお持ちください。
- ・どうぞ、ASTA の活動を、資金面でもご支援ください。



1口500円以上で、Ally（支援者）Goods（キーホルダー、マグネット等）をお配りいたします。

ご寄付は ASTA の活動（学校、企業等へ出張研修）資金として活用いたしますので、どうぞ協力をお願いします。

日時：令和3年11月22日（月） 13:00～15:00

講師：井關敦子（医学部看護学科） 松岡成子（特定非営利活動法人 ASTA 代表）

会場：岐阜大学医学部附属病院 北診療棟3階 WEBカンファレンスルーム

対象者：看護職

定員：30名程度

申し込み方法：ナシストから入力して下さい。

研修内容に難する問い合わせ：医学部看護学科 井關敦子

(E-Mail : akko1003@gifu-u.ac.jp 電話：内線 3228)

《タイムスケジュール》

時間	内容	時間	内容
13:00-13:10	あいさつとアンケート	14:30-14:40	休憩と質問記入
13:10-13:35	基礎知識（松岡）	14:40-14:55	トークセッション
13:35-14:00	井關（岐阜大学）	14:55-15:00	事後アンケート
14:00-14:10	ライフヒストリー①	15:00-	フリートーク
14:10-14:20	ライフヒストリー②		
14:20-14:30	ライフヒストリー③		



主催：LGBT および性別不合の理解を社会に促す研究会（代表：岐阜大学医学部看護学科 母性看護学 井關敦子）

共催：岐阜大学医学部看護学科 地域貢献事業

協力：岐阜大学医学部附属病院看護部

特定非営利活動法人 ASTA（本部：名古屋市瑞穂区）

（教職員/保護者/児童生徒/企業に向けて性の多様性や人権の啓発活動を実施）

Ⅲ. 看護研究支援プログラム

1. 目的

看護職にとって研究は欠かせないものとなっている。初めて看護研究に取り組んだり、看護研究に行き詰まっている看護職を対象に、基本的な看護研究に関する知識に関する研修会を行う。加えて、担当者全員による個人・施設単位の個別研究相談によって研究に関する疑問等を解決していくことによって、岐阜県の看護専門職が自らの専門性を磨くことを可能にする。

2. 目標

- 1) 新型コロナウイルス感染症の動向を鑑み、研修会・個別相談会の開催を行う。
- 2) 岐阜県内の医療機関に対する調査から、これまでの研修会の成果と課題を明らかにする。
- 3) 上記2の課題を分析し、学内外において発表する。

3. 活動内容

1) 看護研究研修会

2021年3月～2022年2月にかけて、看護研究研修会を6回実施した。6回の研修会の延べ参加者数は、63名であった。その実績は以下のとおりである。

	日程	内容	時間	参加者数
第1回	2021年3月23日 (火曜日)	講義 (担当: 小木曾加奈子) ・テーマの見つけ方 ・文献の入手の仕方 個別相談会 (担当: 全員)	13:30～17:00 ・13:30～15:00 講義 ・15:00～17:00 相談会	19
第2回	2021年5月28日 (金曜日)	個別相談会 (担当: 全員)	13:30～17:00	11
第3回	2021年7月27日 (火曜日)	講義 (担当: 西田友子) ・アンケートの作り方 ・量的結果のよみとき方 個別相談会 (担当: 全員)	13:30～17:00 ・13:30～15:00 講義 ・15:00～17:00 相談会	16
第4回	2021年9月17日 (金曜日)	個別相談会 (担当: 全員)	13:30～17:00	7
第5回	2021年12月7日 (火曜日)	講義 (担当: 小林和成) ・研究結果の伝え方 ・結果と考察の書き方 個別相談会 (担当: 全員)	13:30～17:00 ・13:30～15:00 講義 ・15:00～17:00 相談会	9
第6回	2022年2月7日 (月曜日)	個別相談会 (担当: 全員)	13:30～17:00	1

2) 看護研究を支援するための研究

2021年1～2月に、看護研究の支援策を考案するために、自記式質問紙調査を実施した。この調査の目的は、岐阜県内にある医療機関等の看護職の看護研究へのニーズの実態を明らかにすることである。2021年度は、その結果を集計し学会発表や論文において成果を公表した。

2-1) 学会発表

- ・ 小林和成, 西田友子, 牧茂義, 社本生衣, 小木曾加奈子, 竹下美恵子: 岐阜県における看護研究に対する看護職のニーズ—管理者・スタッフからのアンケート調査より—, 第10回岐阜看護学会, 2021年12月
- ・ 牧茂義, 小林和成, 小木曾加奈子, 社本生衣, 西田友子, 竹下美恵子: 臨床看護研究の実施を支援する看護系大学に対するニーズ—管理職とスタッフの要望の比較—, 第68回日本教育医学大会, 2021年8月

2-2) 論文

- ・ 小木曾加奈子, 社本生衣, 牧茂義, 小林和成, 西田友子, 竹下美恵子: 看護研究に取り組む際の職場での支援体制と看護研究推進における看護系大学の貢献に対する要望; 医療機関等の管理職とスタッフに着目して, 教育医学, 67(3), 183-191, 2022

4. 活動評価および課題

2021 年度研修会の参加者が減少していることを鑑み、その要因を考察するために岐阜県内の保健医療福祉施設を対象にしたアンケートを実施した。このアンケートをもって、活動評価および課題とした。

4-1) 方法

2022 年 2 月に岐阜県内の保健医療福祉施設 274 施設に対して、Google Forms を用いたアンケート調査を依頼する文書を郵送した。文書には、令和 3 年度に岐阜大学医学部看護学科 社会貢献部会が主催する看護研究研修会に、参加したことがある方を対象とする調査用 QR コードと、参加しなかった方を対象とする調査用 QR コードの両方を記載した。各施設において、令和 3 年度に看護研究を担当した職員にアンケート調査の依頼をした。

4-2) アンケートへの回答

2021 年度に看護研究研修会に参加したことがある方からは 2 部の回答があり (【資料 1】参照)、参加しなかった方からは 16 部の回答 (【資料 2】参照) があつた。この調査から、以下のことが考えられた。

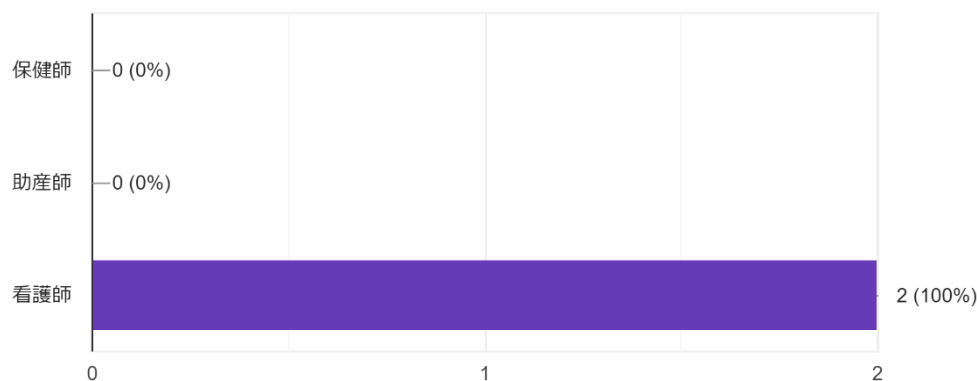
- ・ 参加した方は、複数回参加し、肯定的な意見である
- ・ 現行通り平日の PM での開催を望む声が多かつた
- ・ コロナウイルスへの感染を心配する声が多く、それが参加を妨げている
- ・ 対面実施の良さに関する声もあるが、遠隔によるリモート開催を望む声も少なくない
- ・ 研修会が開催されていること自体を知らない方も多く、広報の方法が課題となる
- ・ 『研修会の内容』は、参加への動機として大きな要因となるため、研修会の内容を充実させることも重要となる
- ・ ベテラン層の看護職の回答が多く、ベテラン層が研修会に興味をもっている可能性がある
- ・ ベテラン層をターゲットにした研修を検討してもよい

【資料 1】 2021 年度に看護研究研修会に参加した看護職の回答 (n = 2)

I. アンケート回答者について

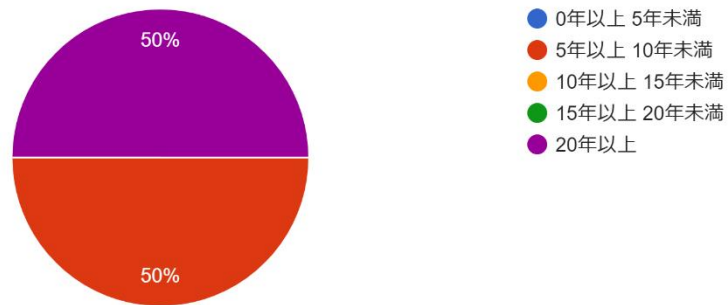
1. 取得している免許・資格について、選んでください (複数回答可)

2 件の回答



2. 現在の職場での経験年数を選んでください。

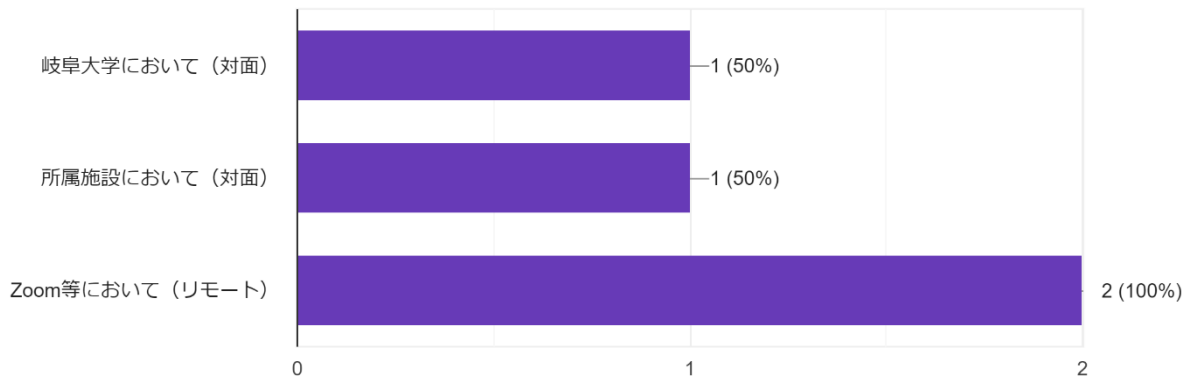
2件の回答



II. 研修会の方法について

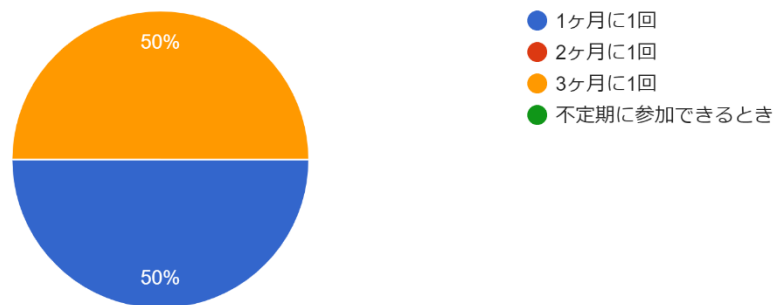
1. 参加したいと思える研修会の開催場所・方法について（複数回答可）

2件の回答



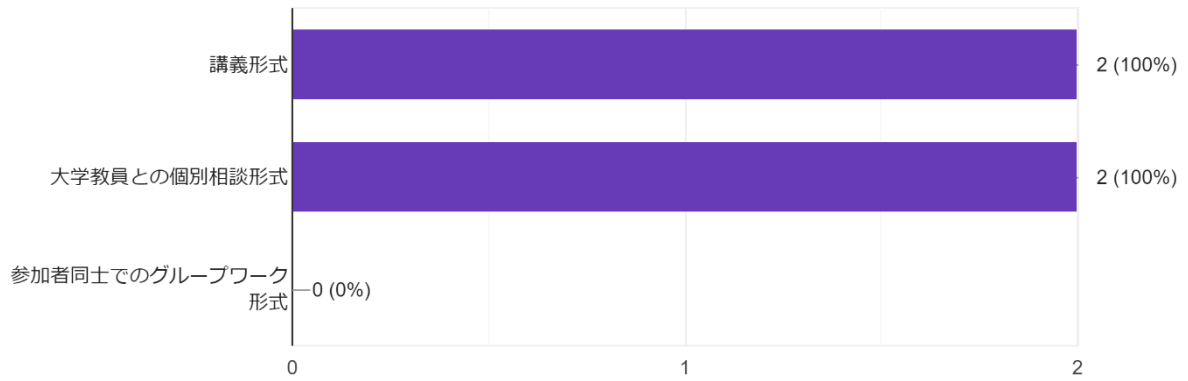
2. 参加したいと思える研修会の開催頻度について

2件の回答



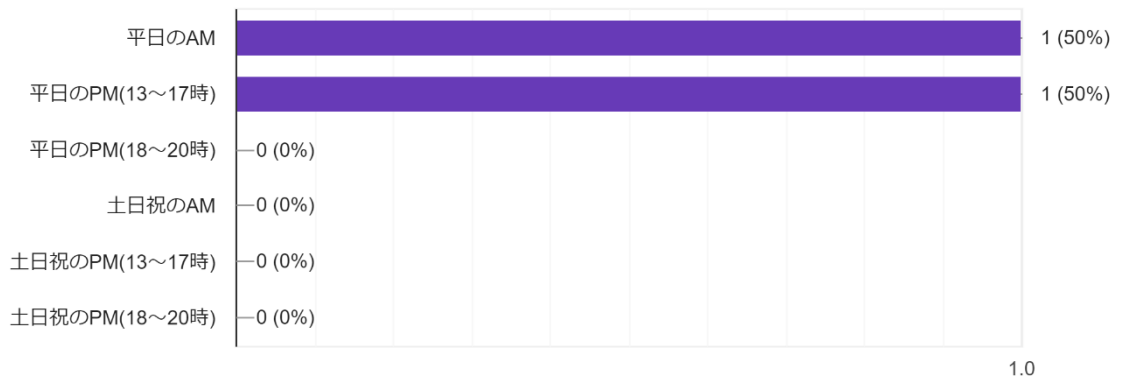
3. 参加したいと思える研修会の開催形式について（複数回答可）

2件の回答



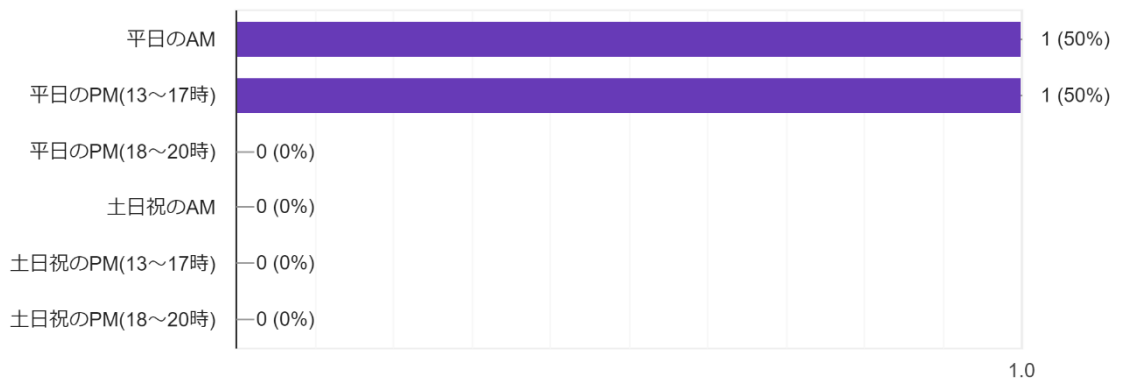
4. 対面開催において、参加したいと思える研修会の開催時間の設定について（複数回答可）

2件の回答



5. リモート開催において、参加したいと思える研修会の開催時間の設定について（複数回答可）

2件の回答



Ⅲ. 研修会について

1.

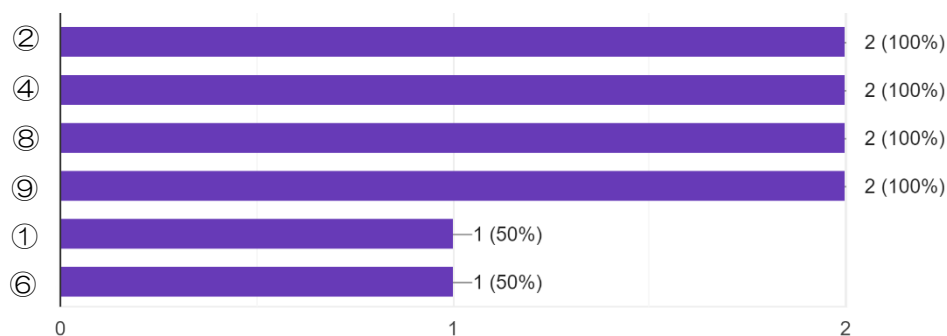
令和3年度岐阜大学の看護研究研修会について、どのような手段で知りましたか。（複数回答可）

2件の回答



2. 令和3年度岐阜大学の看護研究研修会に参加した理由（複数回答可）

2件の回答



【選択肢】

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| ①職場で参加のすすめがあること | ②研究に関する知識が得られる内容であること |
| ③よく知っている場で開催されること | ④研究に関する相談を受けられること |
| ⑤業務や休日などの都合が合うこと | ⑥研修に参加するための時間を職場から与えられたこと |
| ⑦場所が近いこと | ⑧興味のある研修内容があること |
| ⑨無料で参加できること | ⑩身近な人からの評判が良いこと |
| ⑪その他（ | ） |

3. 看護研究に関して、ききたい講義の内容がありましたら、自由にご記入ください。

- ・論文のまとめ方

4. 参加しにくい／参加する必要がある、と感じた点について（複数回答可）

2件の回答

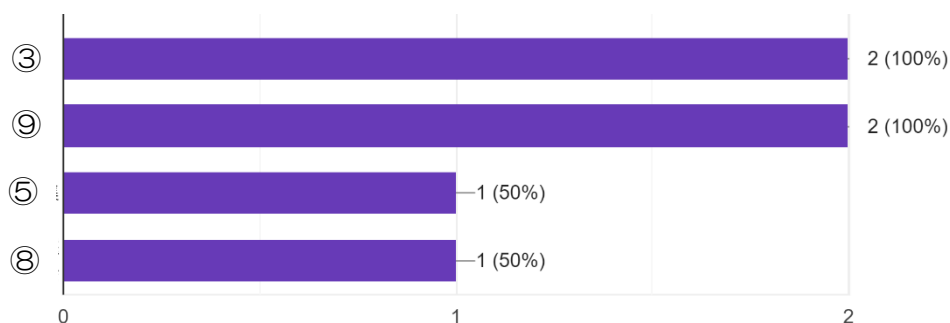


【選択肢】

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| ①研修会がいつ開催されているかわからない | ②すでに知っている内容である |
| ③より身近な場で研修会が開催されている | ④身近に研究に関する相談を受けてもらえる場がある |
| ⑤都合が合う日時がない | ⑥研修を受けるための時間を職場からもらうことができない |
| ⑦遠方で負担が大きい | ⑧興味のある研修内容がない |
| ⑨コロナウイルスへの感染が心配である | ⑩職場から出張等の外出を控えるよう要請されている |
| ⑪その他（ | ） |

5. 大学に望むこと（複数回答可）

2件の回答

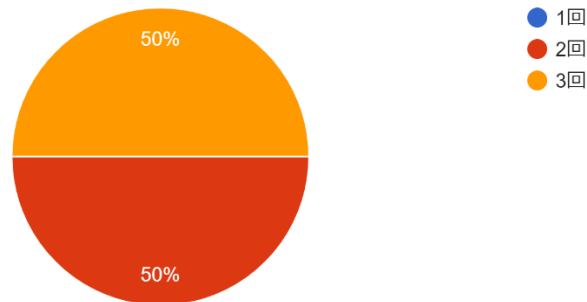


【選択肢】

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| ①現場と大学との共同研究 | ②看護研究の活用や有用性、必要性に関する説明 |
| ③研究プロセス全般にわたる継続的な指導 | ④研究資金獲得に向けた支援 |
| ⑤大学の図書を活用した文献収集 | ⑥統計解析ソフトを含む大学における研究設備の利用 |
| ⑦Web 会議システムを利用した遠隔での講義 | |
| ⑧Web 会議システムを利用した遠隔での個別相談会 | |
| ⑨職場における看護研究に関する講義 | ⑩職場における看護研究に関する個別相談会 |
| ⑪その他（ | ） |

IV. 研修会全般について

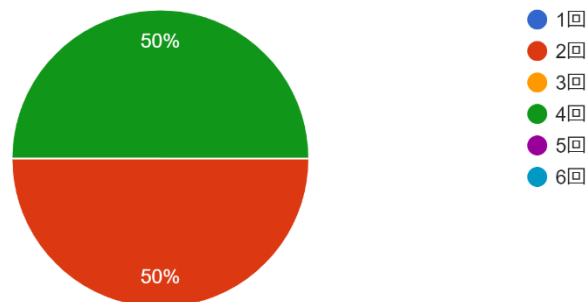
1. 令和3年度 看護研究研修会の講義に参加した回数を選んでください。
2件の回答



2. 講義に参加した回数の理由、または講義の感想について、自由にご記入ください。

・分かりやすく研究を進めるにあたり参考になった

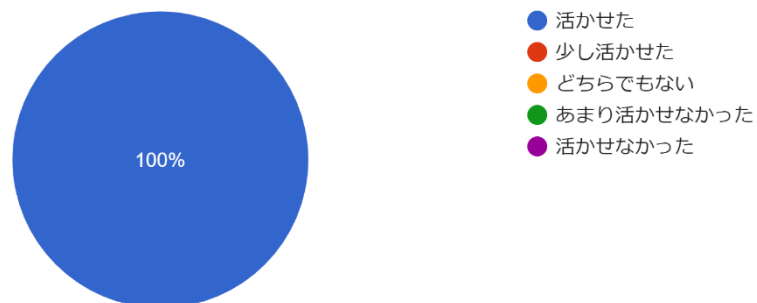
3. 令和3年度 看護研究研修会の個別相談会に参加した回数を選んでください。
2件の回答



4. 個別相談会に参加した回数の理由、または個別相談会の感想について、自由にご記入ください。

・対面で相談でき指導を受けられることで心強いです

5. 研修会の内容は、研究に活かすことができましたか
2件の回答



6. 上記5の選択肢を選んだ理由について、自由にご記入ください。

- ・研究を進めるにあたり方向性をきちんと決定できた

7. 看護研究研修会に関して、ご意見・ご要望がございましたら、自由にご記入ください。

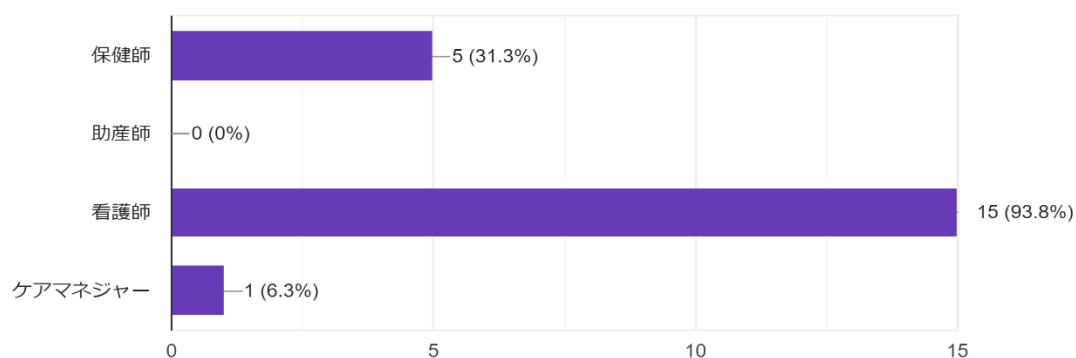
- ・研究を進めるにあたり迷いや方向性がズレてしまいがちですが研修に参加させていただき修正したり自信を持ってました

【資料2】2021年度に看護研究研修会に参加しなかった看護職の回答 (n = 16)

I. アンケート回答者について

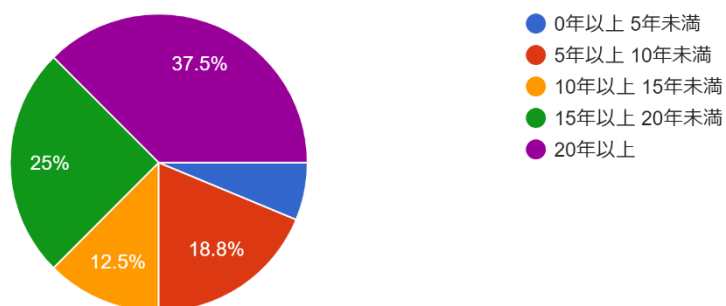
1. 取得している免許・資格について、選んでください。(複数回答可)

16件の回答



2. 現在の職場での経験年数を選んでください。

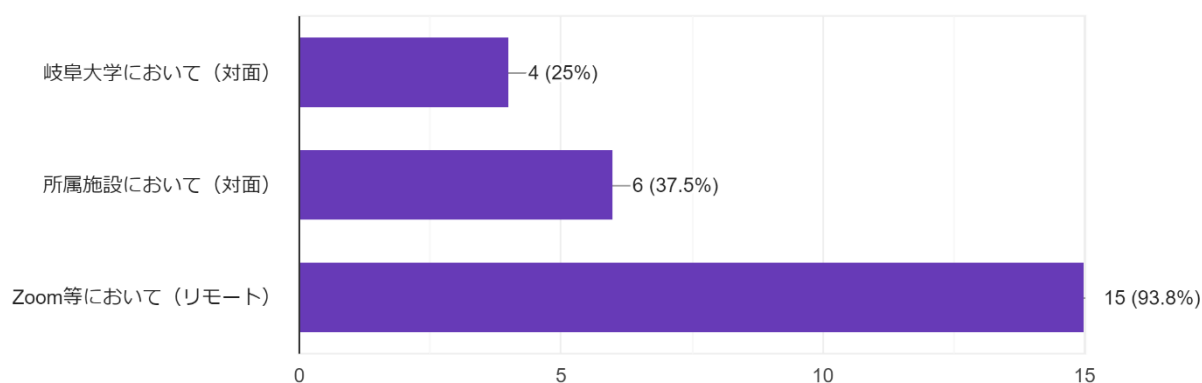
16件の回答



II. 研修会の方法について

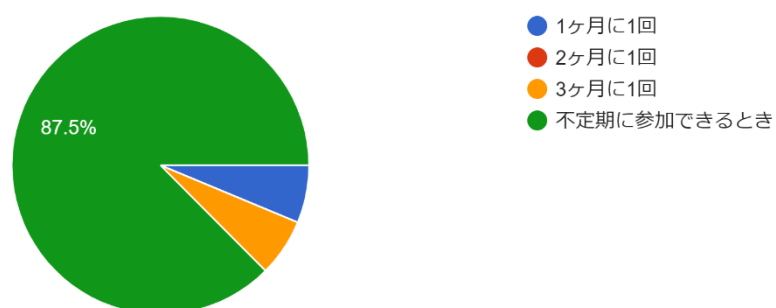
1. 参加したいと思える研修会の開催場所・方法について（複数回答可）

16件の回答



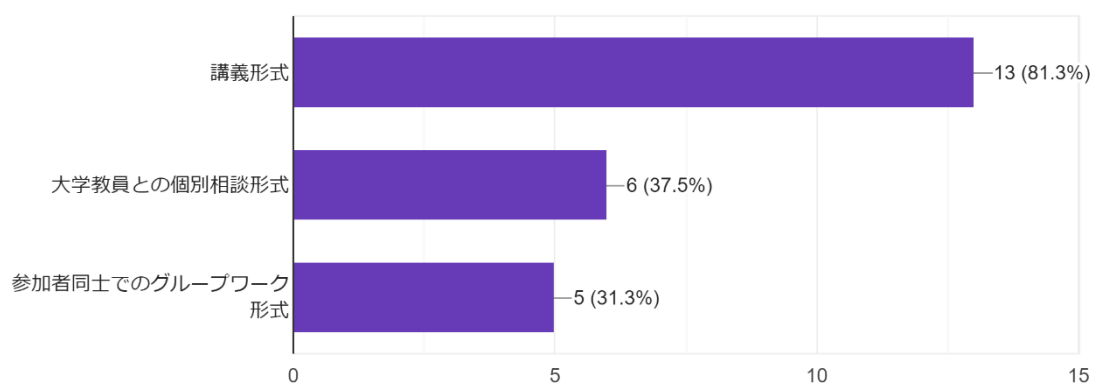
2. 参加したいと思える研修会の開催頻度について

16件の回答



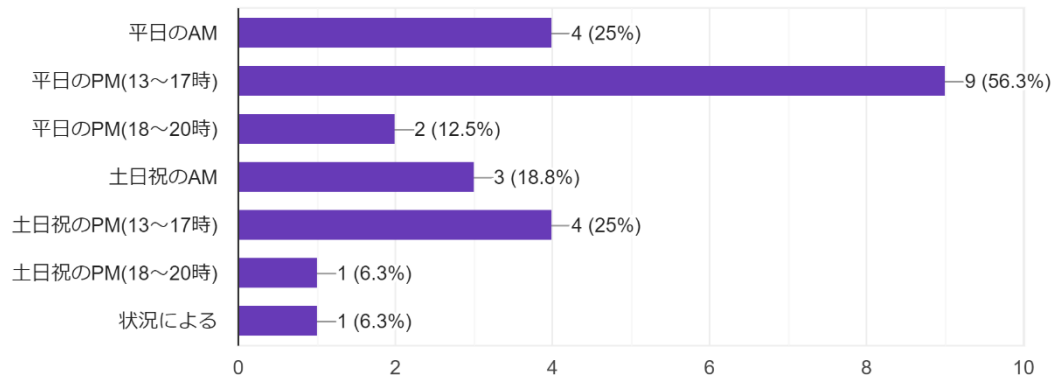
3. 参加したいと思える研修会の開催形式について（複数回答可）

16件の回答



4. 参加したいと思える研修会の開催時間の設定について（複数回答可）

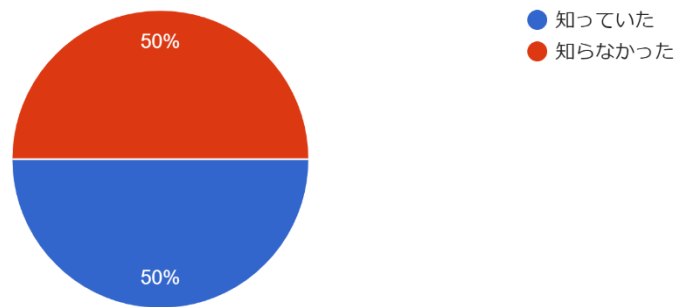
16件の回答



Ⅲ. 研修会への参加について

1. 令和3年度岐阜大学の看護研究研修会について、ご存じでしたか？

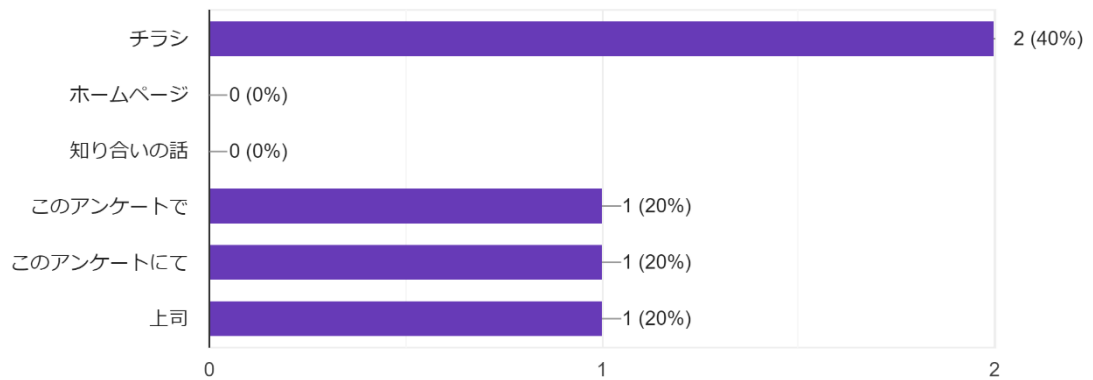
16件の回答



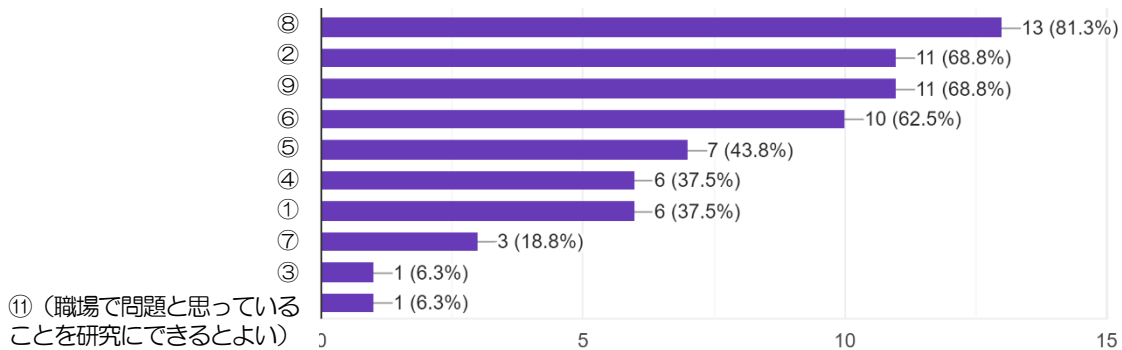
1-1.

令和3年度岐阜大学の看護研究研修会について、どのような手段で知りましたか。（複数回答可）

5件の回答



2. どのような点があれば岐阜大学の看護研究研修会に参加したいと思いますか。（複数回答可）
16件の回答



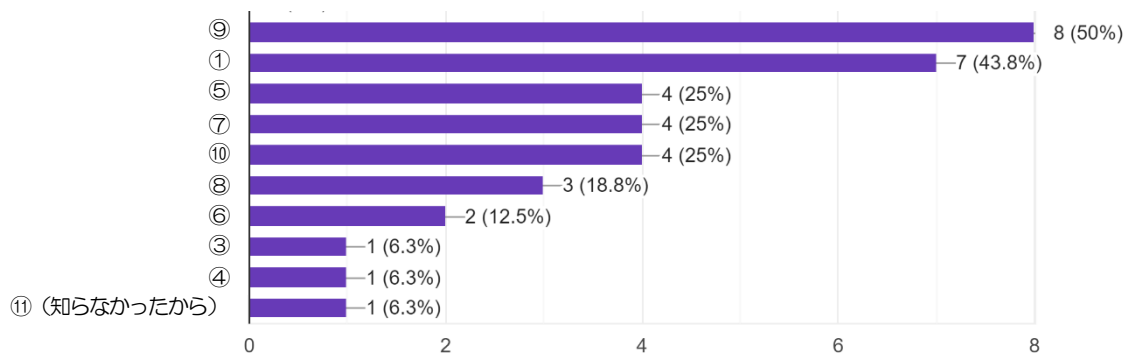
【選択肢】

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| ① 職場で参加のすすめがあること | ② 研究に関する知識が得られる内容であること |
| ③ よく知っている場で開催されること | ④ 研究に関する相談を受けられること |
| ⑤ 業務や休日などの都合が合うこと | ⑥ 研修に参加するための時間を職場から与えられること |
| ⑦ 場所が近いこと | ⑧ 興味のある研修内容があること |
| ⑨ 無料で参加できること | ⑩ 身近な人からの評判が良いこと |
| ⑪ その他 () | |

3. 看護研究に関して、聞きたい講義の内容がありましたら、自由にご記入ください。

・統計について

4. 令和3年度岐阜大学の看護研究研修会に参加しなかった理由について（複数回答可）
16件の回答

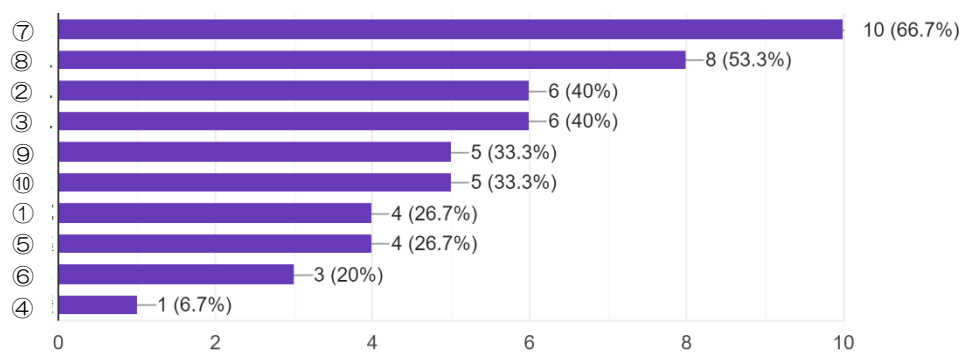


【選択肢】

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| ① 研修会がいつ開催されているかわからない | ② すでに知っている内容である |
| ③ より身近な場で研修会が開催されている | ④ 身近に研究に関する相談を受けてもらえる場がある |
| ⑤ 都合が合う日時がない | ⑥ 研修を受けるための時間を職場からもらうことできない |
| ⑦ 遠方で負担が大きい | ⑧ 興味のある研修内容がない |
| ⑨ コロナウイルスへの感染が心配である | ⑩ 職場から出張等の外出を控えるよう要請されている |
| ⑪ その他 () | |

5. 大学に望むことを選んでください。（複数回答可）

15件の回答



【選択肢】

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ①現場と大学との共同研究 | ②看護研究の活用や有用性、必要性に関する説明 |
| ③研究プロセス全般にわたる継続的な指導 | ④研究資金獲得に向けた支援 |
| ⑤大学の図書を活用した文献収集 | ⑥統計解析ソフトを含む大学における研究設備の利用 |
| ⑦Web会議システムを利用した遠隔での講義 | |
| ⑧Web会議システムを利用した遠隔での個別相談会 | |
| ⑨職場における看護研究に関する講義 | ⑩職場における看護研究に関する個別相談会 |
| ⑪その他（ ） | |



専門職を磨く教育プログラム

看護研究研修会

2021年度 年間予定

看護職にとって研究は欠かせないものです。岐阜大学医学部看護学科では社会貢献の一環として看護職のみなさまの看護研究能力を伸ばすお手伝いをさせていただいております。コロナ禍で大変な時期ではありますが、看護の力が求められる今だからこそ研究という形で皆様の業績を残すことも大事ではないかと思っております。

看護研究にはじめて取り組む方、看護研究に行き詰っている方を対象に、基本的な看護研究に関する研修会を開催しています。研究を始めるにあたっての不安、疑問などにお応えできたらと思っております。研究会は、講義と個別相談の日、個別相談のみの日を設定いたしました。お忙しいとは存じますが、この機会にぜひご参加ください。

回数	日程	内容	時間
第1回	2021年 3月23日 (火曜日)	講義 ・テーマの見つけ方 ・文献の入手の仕方 個別相談会	13:30~17:00 ・13:30~15:00 講義 ・15:00~17:00 相談会
第2回	2021年 5月28日 (金曜日)	個別相談会のみ	13:30~17:00 時間予約可
第3回	2021年 7月27日 (火曜日)	講義 ・アンケートの作り方 ・量的結果のよみとき方 個別相談会	13:30~17:00 ・13:30~15:00 講義 ・15:00~17:00 相談会
第4回	2021年 9月17日 (金曜日)	個別相談会のみ	13:30~17:00 時間予約可
第5回	2021年12月 7日 (火曜日)	講義 ・研究結果の伝え方 ・結果と考察の書き方 個別相談会	13:30~17:00 ・13:30~15:00 講義 ・15:00~17:00 相談会
第6回	2022年 2月 7日 (月曜日)	個別相談会のみ	13:30~17:00 時間予約可

*2022年度 第1回目 3月開催予定

会場

岐阜大学医学部看護学科棟 1階 講義室1

参加費

無料

定員

20名程度

申し込み方法

事前予約を行っていますが、当日参加も可能です。
詳細は各開催回のご案内チラシをホームページでご確認ください。

お願い

ご参加の際はマスクの着用をお願いいたします。また、『新型コロナウイルス感染症対策における研修前確認シート』の提出をお願いいたします。

問い合わせ

岐阜大学医学部看護学科 社会貢献部会

岐阜大学医学部看護学科プロジェクト

TEL 058-293-3218 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1

E-Mail s_koken@gifu-u.ac.jp



岐阜大学

IV. 地域住民健康教育プログラム

令和3年度 地域住民健康教育プログラム

1. 目的

地域住民と看護学科教員・学生が交流の機会をとおり、地域住民の看護学科及び看護に対する理解を得るとともに、学生が社会における看護職の役割を認識し、地域住民に貢献する看護職のあり方を追求する。

看護学科が有する人材を始めとし、施設や教材、および教育研究活動の成果等を県内外の個人、集団、組織およびコミュニティ等に活用してもらい、健康の維持・増進、生活の拡充等に寄与する。

2. 今年度の活動目標

- 1) コロナ禍における黒野地域住民のニーズを明らかにする。
- 2) 学生組織の確立およびPR活動。看護学科各学年の6%（5人程度）の学生が組織に加入することを目指す。
- 3) 産官民学の連携・協働活動の検討と外部資金の獲得を目指す。
- 4) 地域住民が防災訓練を継続できる方法を検討する。

3. 活動実績と評価

昨年度同様、Covid-19の感染拡大により地域住民の活動も制限される状況にあり、地域行事の中に看護学科が参加して社会貢献活動を実施することは難しい状況であった。従って、今年度はコロナ禍における地域住民のニーズを明らかにするために、昨年度から準備してきた調査を実施した。また、看護学科で展開する社会貢献活動を学生に認識してもらい、興味を持ってもらうためにPR活動に力を入れた。本プログラムからの活動内容の発信から、地域における社会貢献活動に興味を持った学生の有志を募り、当該調査の準備・実施過程に参画してもらい、経験的に学びの機会を提供することができた。

更に、今後、看護学科における社会貢献活動に学生を巻き込み、より発展的に実施していくために、岐阜大学の学生に対し、社会貢献活動に対する意識調査を計画して基礎資料を得た。

以下1) -6) に、本年度の具体的な活動概要および評価を示す。

1) 新型コロナウイルス感染症に伴う高齢者の健康・生活調査

- ・目的：黒野自治会連合会との協働により、新型コロナウイルス感染症に伴う高齢者の健康・生活調査を行い、今後の地域における支援活動を行っていく上での基礎資料を得ることを目的とした。
- ・対象：黒野自治会連合会が把握する岐阜市黒野地区在住の65歳以上の高齢者3,252名

- ・方法：無記名自記式調査票によるアンケート調査

<進捗状況と評価>

今年度前半は調査内容や調査方法について検討した後、黒野連合会と協議を重ねて調査計画を修正し、本研究計画について倫理委員会の承認を得た。年度後半には調査を開始し、多くの黒野地区住民の協力が得られ、3月時点で調査を完了した。回答者数は2229名（回収率：68.5%）であった。年度末時点では、調査内容の集計作業中であるが、次年度は得られたデータの分析結果より、コロナ禍における地域住民の健康ニーズや問題点を明らかにし、その健康ニーズの充足、問題を解決できるような活動内容を検討していく必要がある。

2) 大学生の社会貢献活動等に関する調査

- ・目的：大学生の社会貢献活動等への意欲や地域活動への興味などを把握し、その実情を明らかにすることを目的とした。
- ・対象：岐阜大学 医学部看護学科、教育学部、地域科学部の1-4年生
- ・方法：Google Form を活用した Web 調査を実施。

<進捗状況と評価>

資金獲得が出来なかった点、コロナ禍による影響を理由に、前年度倫理承認を得た研究計画を一部変更して Web 調査を実施した。現時点で一時締め切りを迎えたが、回答者数が必要数に達しなかったため、期間を延長して調査継続となっている。次年度は、本調査結果を分析し、学生と共に実施する地域における社会貢献活動を計画していく。

3) 外部資金の獲得について

1)・2) で述べた2件の調査を進めるにあたり、外部資金の獲得を目標としたが、申請時期が活動期間と合わない等の理由から断念し、看護学科内の資材と社会貢献部会の経費を活用し、調査を進めることとした。

4) 学生組織の確立と PR 活動について

新型コロナウイルス感染症の影響により、当初計画していた大々的な PR 活動を行うに至らなかったが、1) の「新型コロナウイルス感染症に伴う高齢者の健康・生活調査」の調査過程において、学生の有志を募るためにこれまで行ってきた社会貢献活動の概要を説明する機会を11/19(1年生)、11/30(2年生)に設けた。説明会には、学生21名(1年生8名、2年生13名)が参加し、興味を持ってくれた学生14名(1年生4名、2年生10名)が、調査用紙の仕分け作業に参加した。また、調査準備の過程で、1・2・4年生が作業を通して交流を深めることができた。更に、これまで地域住民健康教育プログラムの社会貢献活動に参加した4年生の経験や学びを聞く機会を設け、社会貢献活動に参加するメリットを学生

が感じることができていた。次年度は、引き続き調査集計や分析過程に学生を参画させ、地域住民の健康ニーズや課題を教員と共に考え、その後の活動計画にも参加できるように働きかけていく必要がある。また、本活動への学生の参画を通して、学生組織の確立を目指す。

5) 地域住民の防災訓練の継続活動に関して

今年度黒野地区の防災訓練は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催されなかった。前年度の調査によって、防災活動に対する住民のニーズは高いことも明らかになっているため、今後、コロナ禍においてもこのような地域の活動が継続できるような方法を地域住民と共に考えていく必要がある。

6) 論文の投稿

- ・大学の社会貢献活動として地域防災活動を行うための基礎調査－看護学生による地域住民を対象にした災害に関するアンケート調査－田中健太郎, 阿部誠人, 伊藤颯希, 井上歩柚, 額額朋弥, 小林和成, 東海公衆衛生雑誌 9(1) 104-113 2021年7月

4. 次年度の課題

- 1) 新型コロナウイルス感染症に伴う高齢者の健康・生活調査結果の分析を進め、その結果を基に地域住民のニーズに合った長期的な活動計画を立案する。
- 2) 大学生の社会貢献活動等に関する調査の分析を進め、その結果を基に学生のニーズに合致した、学生が参画しやすい持続可能な社会貢献活動の計画と組織化

5. 今年度の活動メンバー

額額朋弥, 小林和成, 田中健太郎 (副部会長), 岡本名珠子, 田中千絵,
阿部誠人 (副部会長)



地域住民の方の健康を支援する活動
～看護学科地域・社会貢献活動～

説明会



岐阜大学医学部看護学科では、2016年から教員と学生による地域住民の方の健康を支援する活動(地域・社会貢献活動)を行ってきました。これまでも、多くの学生が活動に参加していますが、今回新たに、一緒に活動してくれる学生を募集します。そこで、下記の日程で活動の魅力や取り組みに関する、説明会を開催します。地域での健康づくりや予防活動に興味のある学生は、奮ってご参加ください。今後活かせるメリット多数ですよ!

実施日

2021年 11月19日 (金)

9:30～10:00

実施場所

全学共通教育棟 37番教室

内容

地域住民の方の健康を支援する活動等について

※ 活動に参加した先輩からの感想等は別紙をご覧ください。

対象学生

1年生

申込方法

下記アドレスまでメールにてお申し込み下さい。

※ chiet@gifu-u.ac.jp (担当：田中千絵 (老年看護学))

申込締切

11月18日 (木) 正午

問い合わせ

岐阜大学医学部看護学科 社会貢献部会

岐阜大学医学部看護学科プロジェクト

〒501-1193岐阜市柳戸1番1

TEL: 058-293-3217(代表) [担当: 田中健太郎(地域看護学)]



MAKE NEW STANDARDS.
東海国立
大学機構



地域住民の方の健康を支援する活動
～看護学科地域・社会貢献活動～

説明会



岐阜大学医学部看護学科では、2016年から教員と学生による地域住民の方の健康を支援する活動(地域・社会貢献活動)を行ってきました。これまでも、多くの学生が活動に参加していますが、今回新たに、一緒に活動してくれる学生を募集します。そこで、下記の日程で活動の魅力や取り組みに関する、説明会を開催します。地域での健康づくりや予防活動に興味のある学生は、奮ってご参加ください。今後活かせるメリット多数ですよ！

実施日

2021年 **11月30日** (火)
9:30～10:00

実施場所

看護学科棟 講義室1

内容

地域住民の方の健康を支援する活動等について

※ 活動に参加した先輩からの感想等は別紙をご覧ください。

対象学生

2年生

申込方法

下記アドレスまでメールにてお申し込み下さい。

※ chiet@gifu-u.ac.jp (担当：田中千絵 (老年看護学))

申込締切

11月29日 (月) 正午

問い合わせ

岐阜大学医学部看護学科 社会貢献部会

岐阜大学医学部看護学科プロジェクト

〒501-1193岐阜市柳戸1番1

TEL: 058-293-3217(代表) [担当：田中健太郎(地域看護学)]



MAKE NEW STANDARDS.
東海国立
大学機構

